

CloudGate SSO 管理者サイトマニュアル



【Active Directory 連携版】

改版履歴

Ver	日付	履歴
1.0	2008.8.28	・新規作成
1.1	2009.3.25	・サポートページへのリンク追加 ・パスワードポリシー設定削除 ・携帯アクセス制限ヘルプ追加 ・サインオン設定削除 ・セキュリティ設定追加 ・ユーザープロファイル設定追加
1.2	2009.05.25	・レイアウト変更 ・アカウント一覧表示件数の可変対応 ・個別プロファイルとの区別対応 ・ユーザーへのプロファイル一括反映対応 ・ロック時間指定の分単位設定対応 ・プロファイルのアクセス制限時の確認追加対応 ・アクセス制限ヘルプの充実化 ・パスワード変更要求機能追加 ・部署ツリー表示追加 ・OpenLDAP 設定編と ActiveDirectory 設定編の分割
1.3	2009.06.30	・パスワード制限機能強化 ・Q & A の追加
1.4	2009.7.31	・携帯端末ID制限機能追加 ・「アクセス制限ヘルプ」を「(設定例)」と「詳しく(キャリアヘルプ)」に分割
1.5	2009.9.30	・「サインオン履歴」の機能強化に伴い「アクセス履歴」に名称変更 ・「アクセス制限設定例」の「設定例 7」を修正
1.6	2009.11.04	・トピック表示機能追加 ・グループ一括登録機能追加 ・グループ一括登録機能追加によりメーリングリスト削除 ・トークン認証機能追加(新モジュールオプション) ・PC 端末制限機能追加
1.7	2009.11.30	・携帯キャリア制限に Willcom 対応
1.8	2010.03.31	・PC 端末制限機能強化
1.9	2010.04.30	・グループ一括登録チェック処理強化
2.0	2010.05.31	・管理者サイト画面レイアウト変更 ・ダウンロード機能追加 ・Topic の文字数変更 ・パスワード有効期限切れの表示変更
2.1	2010.08.31	・全面的に改訂 ・グループ一括登録・ダウンロードのエラー文言追記
2.1.1	2010.09.30	・ユーザーによるパスワード変更追加 ・グループ ID 指定ダウンロード追加 ・グループ一括登録注意事項追加 ・リフレッシュ機能追加
2.1.2	2010.12.15	・ダッシュボードの緊急障害用特別窓口(電話番号)変更
2.1.3	2011.01.05	・アカウント登録状況確認追加 ・携帯オートログイン機能追加
2.1.4	2011.02.25	・Google Apps ログイン用 URL の修正
2.1.5	2011.08.31	・Q&A 追加 ・仕様変更によるパスワード最低文字数変更
2.1.6	2011.12.28	・Q&A 追加 ・ファイルサーバーアクセスに関する質問
2.1.7	2012.03.30	・グループ一括登録アクセスレベルの Google Groups for Business サービス画面表記を追加 ・スマートフォン端末制限機能を追加
2.1.8	2012.07.31	・グループ一括登録 Google Groups for Business 新インターフェースのアクセスレベル解説追加 ・アクセス履歴ダウンロードデータの詳細説明を追加
2.1.9	2013.03.31	・Q&A を大幅に改訂 ・2.4 備考欄について追加 ・6.5 フィルター一括設定を追加 ・11.7 パスワード非同期なのに Cloud Gate パスワード変更画面が表示されるを追加 ・グループ一括登録に注意事項を追加 ・2.5 Cloud Gate にのみ存在するアカウントを削除追加
2.1.10	2013.08.30	・3.1.1 アクセス制限の設定方法解説を追加 ・4.2 ユーザーによるパスワード変更【注意】Google Apps 特権管理者のパスワード変更手順を追加
2.2	2015.03.31	・4.1 パスワード変更 ・4.6 Google Apps パスワードリセットを追加 ・5. グループ(メーリングリスト)一括処理(登録・更新・削除) ・5.1 CSV 一括登録
2.3	2015.04.01	・グループ一括登録の注意事項を修正
2.4	2016.03.31	・2.8 SSO サーバ管理権限設定 を追加 ・9.2 アカウント状態一覧ダウンロード を追加
2.6	2016.05.16	・2.8.2 オペレータ権限複数組織対応機能追加
2.8	2017.03.14	SSO 経由でのグループ「アクセスレベル」変更機能の提供終了に伴い、以下を修正 ・5. グループ(メーリングリスト)一括処理(登録・更新・削除)

目次

はじめに	4
1 機能構成	5
1.1 機能構成一覧	5
1.2 サイトマップ	6
2 アカウント管理・組織管理	7
2.1 アカウント一覧	7
2.2 アカウントの作成・更新・削除	7
2.3 アカウント登録状況確認	8
2.4 備考欄について	10
2.5 Cloud Gate にのみ存在するアカウントを削除	11
2.6 組織管理	12
2.7 部署ツリーを任意の順番でソート	13
2.8 SSO サーバ管理権限設定	14
2.8.1 組織管理者権限設定	14
2.8.2 オペレータ権限設定	17
2.8.3 オペレータの操作	18
3 セキュリティ設定	21
3.1 セキュリティ設定項目詳細	22
3.1.1 アクセス制限	22
3.1.2 パスワードポリシー設定	24
3.1.3 アクセス履歴最大保存数	25
3.1.4 スマートフォン端末制限	25
3.1.5 POP/IMAP アクセス制限	25
3.2 プロファイル設定	26
3.2.1 プロファイル新規作成	26
3.2.2 プロファイル適用	27
3.2.3 プロファイル更新	28
3.2.4 プロファイル削除	30
3.2.5 個人プロファイル更新	31
4 パスワード	33
4.1 パスワード変更	34
4.2 ユーザーによるパスワード変更	40
4.3 パスワード有効期限切れ	44
4.4 Active Directory のパスワードポリシーとの兼ね合い	45
4.5 アカウントロック解除(パスワード同期 / 非同期 共通)	46
4.6 Google Apps パスワードをリセット	47
5 グループ(メンバーリスト)一括処理(登録・更新・削除)	48
5.1 CSV 一括登録	48

5.2	CSV 一括登録のエラー(フォーマットエラー)	51
5.3	CSV 一括登録のエラー(グループメンバーが登録されない)	52
5.4	グループ情報ダウンロード	53
5.4.1	グループ情報一括ダウンロード	53
5.4.2	グループ ID 指定ダウンロード	54
6	Cloud Gate Address Book & Group Calendar の管理	55
6.1	アカウントの表示名・所属・役職	55
6.2	Cloud Gate Address Book にのみ表示させるアカウント	56
6.3	ソート機能	57
6.4	フィルター設定	58
6.5	フィルター一括設定	60
7	リフレッシュ	61
8	アクセス履歴の確認	62
9	ダウンロード	63
9.1	アクセス履歴ダウンロード	64
9.2	アカウント状態一覧ダウンロード	64
10	ダッシュボード	65
11	トラブルシューティング	66
11.1	CSV 一括登録がうまくいかない	66
11.2	CSV 一括登録で画面が真っ白になる	66
11.3	プロフィールを更新したが、各ユーザーに適用されていない	66
11.4	ログイン時に表示される「アクセス履歴」のポップアップを非表示にしたい	67
11.5	表示言語を変更したい	67
11.6	SSO ログインの後、Gmail 以外の画面にログインするには？	68
11.7	「パスワード非同期」なのに、SSO ログイン時 Cloud Gate のパスワード変更画面が表示された	69
12	Q&A	70

はじめに

SSO 管理者サイトの URL などの管理者情報は、サービス開通時にお渡ししております「開通通知書」に記載がございます。

SSO 管理者権限を持つアカウント ID でログインが可能です。

「Cloud Gate ASP 開通通知書」サンプル：

重要												
_____ 御中 発効日: 20XX 年 XX 月 XX 日												
Cloud Gate ASP 開通通知書												
【ご契約内容】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">お客様名(敬称略)</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>ご利用期間</td> <td>20XX 年 XX 月 XX 日 ~ 20XX 年 XX 月 XX 日</td> </tr> </table>	お客様名(敬称略)	_____	ご利用期間	20XX 年 XX 月 XX 日 ~ 20XX 年 XX 月 XX 日								
お客様名(敬称略)	_____											
ご利用期間	20XX 年 XX 月 XX 日 ~ 20XX 年 XX 月 XX 日											
【SSO サーバ情報】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">SSO ID</td> <td>[userID]</td> </tr> <tr> <td>SSO 管理者画面 URL</td> <td>https://cloudgate.jp/[userID]_admin/Dashboard</td> </tr> <tr> <td>ログインページの URL</td> <td>https://cloudgate.jp/[userID]/doLogin</td> </tr> <tr> <td>ログアウトページの URL</td> <td>https://cloudgate.jp/[userID]/doLogout</td> </tr> <tr> <td>パスワード変更画面の URL</td> <td>https://cloudgate.jp/[userID]/change_password.jsp</td> </tr> <tr> <td>SSO ご利用ユーザー数</td> <td>XXXXXX ユーザー</td> </tr> </table>	SSO ID	[userID]	SSO 管理者画面 URL	https://cloudgate.jp/[userID]_admin/Dashboard	ログインページの URL	https://cloudgate.jp/[userID]/doLogin	ログアウトページの URL	https://cloudgate.jp/[userID]/doLogout	パスワード変更画面の URL	https://cloudgate.jp/[userID]/change_password.jsp	SSO ご利用ユーザー数	XXXXXX ユーザー
SSO ID	[userID]											
SSO 管理者画面 URL	https://cloudgate.jp/[userID]_admin/Dashboard											
ログインページの URL	https://cloudgate.jp/[userID]/doLogin											
ログアウトページの URL	https://cloudgate.jp/[userID]/doLogout											
パスワード変更画面の URL	https://cloudgate.jp/[userID]/change_password.jsp											
SSO ご利用ユーザー数	XXXXXX ユーザー											
【OPTION】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">Address 帳サーバ</td> <td>XXXXXX ユーザー</td> </tr> </table>	Address 帳サーバ	XXXXXX ユーザー										
Address 帳サーバ	XXXXXX ユーザー											

◆マニュアル内に記載がある機能で、お客様環境ではメニューが表示されない機能は、バージョンアップによりご利用いただけるものがございます。恐れ入りますが Cloud Gate サポートまでどうぞお問い合わせください。
 (※別途有償オプションとなる機能もございます)

1 機能構成

1.1 機能構成一覧

SSO 管理者サイトでは、以下の機能があります。

ダッシュボード

SSO サービスの利用状況のサマリーを表示します。

アカウント一覧

登録済みのアカウントを一覧表示します。

グループ設定

グループ(メーリングリスト)の一括処理、Cloud Gate Address Book のフィルター設定、リフレッシュをします。

セキュリティ設定

サインオンに関する設定、パスワードに関するポリシーの設定をプロファイルとして設定します。
作成したプロファイルはユーザー毎に適用することができます。

ダウンロード

グループ情報一覧をダウンロード出来ます
アクセス履歴を条件指定でダウンロード出来ます

1.2 サイトマップ

SSO 管理者サイトでは、以下の画面を持ちます。

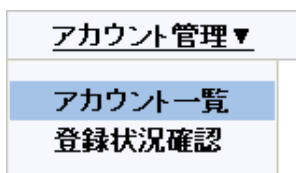


2 アカウント管理・組織管理

Google Apps/SSO/Address Book で機能する各アカウント及び組織は、Active Directory と連携して管理します。

アカウント管理に関するオペレーションは、別冊の『Cloud Gate SSO アカウントシンクロマニュアル』をご参照ください。

2.1 アカウント一覧



アカウント一覧をクリックすると、Google Apps・Active Directory と連携する SSO アカウントが一覧表示されます。

アカウント一覧画面：

部署一覧: Active Directory の ou の 階層を表示します。
部署名をクリックすると、アカウントリスト表示が切り替わり、選択した ou 配下のアカウントが表示されます。

検索: アカウント検索ができます。現在、検索対象は「アカウント ID」のみとなっています。(部分一致にも対応しています) また、検索時、英大文字と英小文字は区別して検索されます。

☐	アカウントID	Google連携	ロック状態	設定プロファイル	SSO管理者権限	パスワード期限	最終サインオン
☐	yukiko_mishima	•		デフォルトプロファイル		2284/04/26 9:43:36	未サインオン
☐	user2	•		デフォルトプロファイル	•	2284/03/23 11:47:20	2010/07/12 16:41:28
☐	torii_n	•		デフォルトプロファイル		2109/11/01 0:00:00	未サインオン
☐	test	•		デフォルトプロファイル		2284/02/22 17:48:24	2010/07/14 14:17:22
☐	terada_r	•		デフォルトプロファイル		2109/11/01 0:00:00	未サインオン
☐	tanaka_s	•	•	デフォルトプロファイル		2010/06/30 11:47:20	2010/06/29 10:39:22

2.2 アカウントの作成・更新・削除

Google Apps・Active Directory と連携する SSO アカウントの作成・更新・削除は、Active Directory からの操作で行います。

操作方法は、別冊の『Cloud Gate SSO アカウントシンクロマニュアル』をご参照下さい。

SSO 管理者サイトから SSO アカウントの作成・更新・削除は行うことができません。

2.3 アカウント登録状況確認

アカウント管理▼

アカウント一覧

登録状況確認

Active Directory アカウントシンクロによる登録・更新・削除の処理結果ログを管理者サイトから確認可能です。

デフォルトで最新5件の処理 ID の結果を表示します。

結果詳細画面：

登録状況確認			
確認対象選択	アカウント登録状況 ▼		
アカウントシンクロ	処理ID	開始日時	結果
	20110107AccountSync	2011/01/07 10:27:53	総件数：9件 成功：5件 エラー：4件 ダウンロード
	20110106AccountSync	2011/01/06 18:05:15	総件数：1件 成功：0件 エラー：1件 ダウンロード

処理 ID は、アカウントシンクロを開始した年月日を起点に作成し、その日 1 日分の処理を 1 つの処理 ID 内にまとめて表示します。

結果のリンクをクリックすると処理 ID 毎に詳細結果が表示されます。

登録状況確認			
詳細表示	20110107AccountSync ☒ 成功のみ表示 ☒ エラーのみ表示 ※現在処理継続中のため、結果に全件表示されません。しばらく経ってからご確認ください。		
	成功：5件（登録：1件 更新：2件 削除：2件） エラー：4件		
処理時間	処理区分	処理ID	処理結果
2011/01/07 10:27:54	更新	accountsync03	Active Directoryアカウント「accountsync03」のログインIDが「accountsync01」のログインIDから変更されたことを検知しましたが、この操作はSSOサーバ、およびGoogle Appsアカウントに同期されません。
2011/01/07 10:29:30	更新	accountsync01	成功
2011/01/07 10:30:26	更新	accountsync02	成功
2011/01/07 10:33:59	削除	accountsync02	成功
2011/01/07 10:34:16	登録	accountsync02	ユーザ「accountsync02」は、削除後5日以内であるため、Google Appsアカウントが作成されませんでした。

アカウントシンクロは Active Directory と最新の情報で同期するために常時稼働している状態のため、最新の処理 ID の詳細画面では ※現在処理継続中のため、結果に全件表示されません。しばらく経ってからご確認ください。

◆尚、管理者サイトを英語で表示した場合でも、処理結果のメッセージは日本語で表示されます。

管理者サイトで表示される履歴数は件数に上限がありますので、「[ダウンロード](#)」より、処理結果をダウンロードし、必要に応じて履歴を保存してください。

データはcsv形式で文字コード UTF-8 のファイルで出力されます。

処理結果ダウンロードcsvサンプル:

処理 ID

処理実行時間

処理結果

	A	B	C	D	E	F
1	indent_id	batch_id	proc_date	proc_kbn	proc_id	proc_result
2	20110104AccountSync	1	2011/1/4 17:08	U	n.oda	ユーザ「n.oda」の名・姓(「」・「」)は無効の為、Go
3	20110104AccountSync	1	2011/1/4 17:09	U	t.ashikaga	Active Directoryアカウント「t.ashikaga」のログオン
4	20110104AccountSync	1	2011/1/4 17:10	U	t.saigou	成功
5	20110104AccountSync	1	2011/1/4 17:11	U	r.sakamoto	成功
6	20110104AccountSync	1	2011/1/4 17:12	D	m.miyamoto	成功
7	20110104AccountSync	1	2011/1/4 17:12	C	m.date	成功
8	20110104AccountSync	1	2011/1/4 17:14	C	itokugawa	ユーザ「itokugawa」は、削除後5日以内である為

batch_id はアカウントの場合常に「1」

処理フラグ

「C」: 新規作成

「U」: 更新

「D」: 削除

対象アカウント名

エラーメッセージ一覧:

*エラーメッセージは、アカウントシンクロエラーメールのメッセージと同一になります。

エラーメッセージ	対処
Active Directory アカウント「●●」の名(F)が無かったため、処理されませんでした。	アカウントシンクロマニュアル 3.1 連携アカウント登録の「姓名/アカウント ID に使用できる文字」をご参照いただき、有効な値を設定してください。
Active Directory アカウント「●●」の姓(L)が無かったため、処理されませんでした。	
Active Directory アカウント「●●」の名・姓(「○○」・「△△」)は無効な値のため、Google Apps アカウントと同期されませんでした。	
Active Directory アカウント「●●」のユーザーID が無効な値のため、Google Apps アカウント ID として同期処理されませんでした。	
ユーザー「●●」は、削除後5日以内であるため、Google Apps アカウントが作成されませんでした。	Google Apps の仕様により、Google Apps コントロールパネルからアカウント削除後 5 日間は同じアカウント名で作成できません。
Active Directory アカウント「●●」のログオン ID が「●●」のログオン ID から変更されたことを検知しましたが、この操作は SSO サーバ、Google Apps アカウントに同期されません。	一旦作成した Google Apps アカウントのアカウント ID の変更は現在サポートしておりません。
Google Apps ライセンス数の上限に達したため、ユーザー「●●」はアカウント作成されませんでした。	Google Apps、もしくは Cloud Gate のご契約ライセンス数をお確かめください。不要なアカウントを削除し、ライセンスの空きを作ってから再度お試しください。
Cloud Gate ライセンス数の上限に達したため、ユーザー「●●」はアカウント作成されませんでした。	

2.4 備考欄について

各アカウントの詳細画面より、「備考欄」にデータを入力することが可能です。

備考欄

変更を保存

削除

キャンセル

備考欄に入力されたデータは、Google Apps の情報には反映されません。

また、Address Book や Group Calendar の表示データとしても反映されません。

管理者の方のメモ欄としてご利用ください。

2.5 Cloud Gate にのみ存在するアカウントを削除

Cloud Gate のアカウント管理は基本的にアカウントシンクロにより実施されます。

Cloud Gate アカウントを削除する場合は、Active Directory より「連携解除」の手順を行うと、アカウントシンクロにより Cloud Gate からアカウントが削除され、アカウント一覧には表示されません。

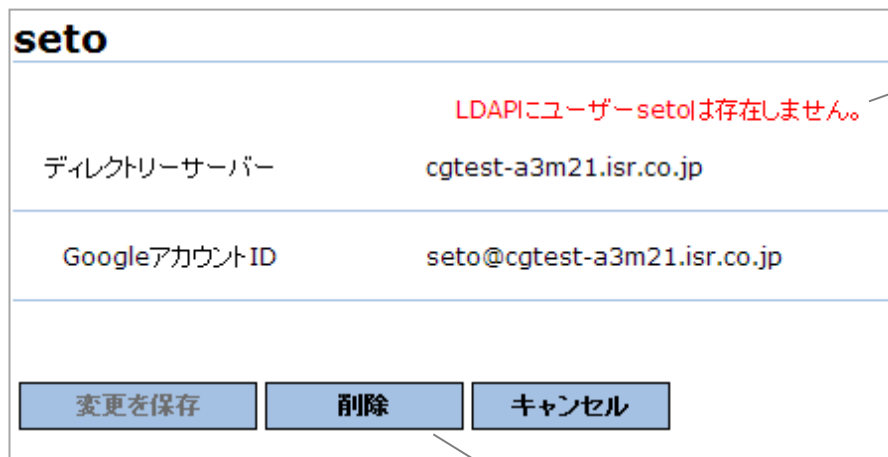
(アカウントシンクロマニュアル「3.3 連携解除(Google Apps アカウント停止/削除)」をご参照ください)

正しい手順で Active Directory 上で連携解除を行わなかった場合、もしくはアカウントシンクロが正常に Cloud Gate からアカウントを削除できなかった場合、Cloud Gate 管理者サイト上には不要なアカウントが残ったままとなります。これは、Cloud Gate のライセンスも消費している状態となります。

以下の手順で、Active Directory には存在しておらず、Cloud Gate にのみ存在するアカウントを削除することができます。



アカウント一覧画面より、
対象のアカウント ID をクリック



Active Directory に存在しない
アカウントの場合は、赤字
でメッセージが表示されます。

Active Directory に存在しないアカウントの場合のみ、
削除ボタンが表示されます。
クリックしてアカウントを削除します。

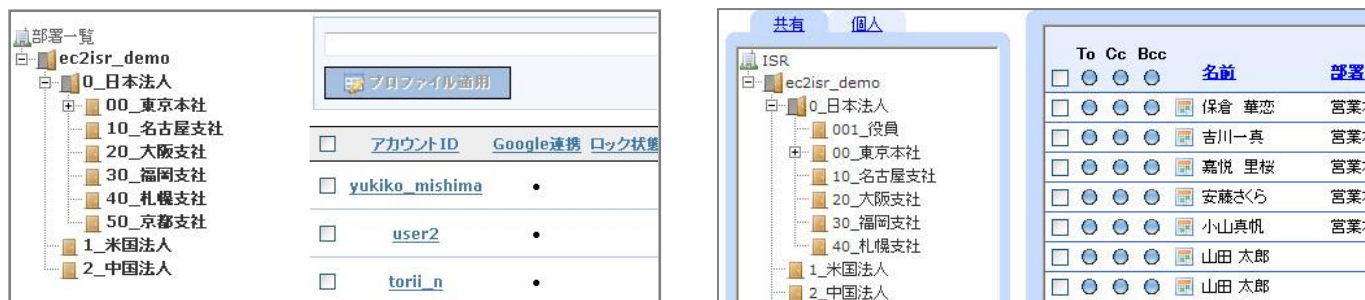
アカウントを削除すると、アクセス履歴やプロフィール設定もすべて削除されます。

また、この操作では Google Apps のアカウントは削除されませんので、別途 Google Apps コントロールパネルからも削除の操作を行う必要があります。

2.6 組織管理

SSO 管理者サイト、Cloud Gate Address Book に表示される部署ツリーは、Active Directory の参照起点 ou 以下の ou を表示しています。

- ◆ ou 名に半角記号「 / 」 「 , 」 「 ¥ 」 「 = 」 「 < 」 「 > 」 「 + 」 「 \$ 」 「 ‘ 」 「 “ 」が含まれた場合、正常に表示されない場合があります。



- ◆ 部署ツリーは、ou の部署名の Unicode 順で表示されます。
- ◆ ou を Active Directory から変更後、サーバキャッシュが作り変えられるまでの間、表示の反映に時間がかかる場合があります。
- ◆ 参照起点以下 ou で、Address Book で表示させたくない ou がある場合は、別途ご依頼ください。サポート対応で非表示 ou を設定いたします。

2.7 部署ツリーを任意の順番でソート

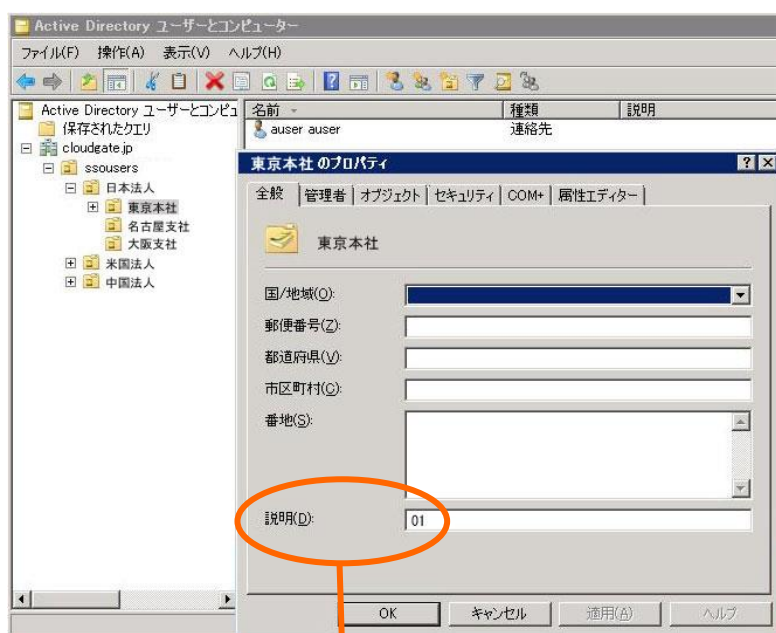
Cloud Gate Address Book で表示される部署ツリーを任意の順番で表示させることができます。

※ 個別で設定が必要ですので、ご利用の場合はサポートにご依頼ください。

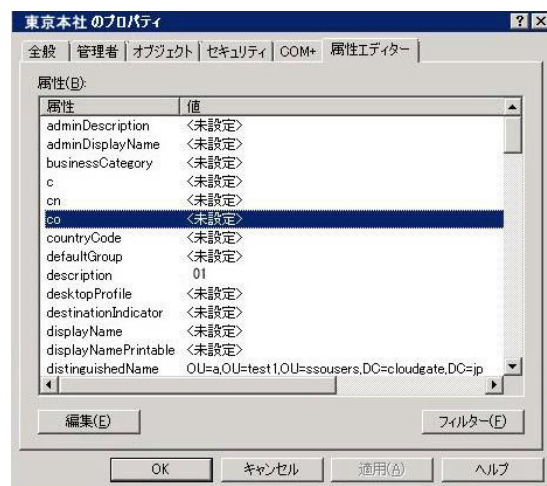
Active Directory の ou のプロパティの任意の属性の値をソートキーとして認識します。

ソートキーの Unicode 順で部署ツリーを表示します。

ou のプロパティ編集画面：



属性エディターのタブでも編集できます



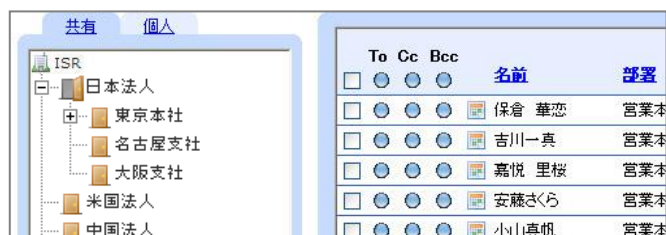
ソートキーの記入例：

例では、Active Directory の ou プロパティの「説明」をソートキーの入力フィールドに指定しています。

(設定時にお客様が任意にご指定いただけます)

ソートキーは半角英数で、桁数を揃えてご指定ください。(1～10 の場合、01～10 と 2 桁にする必要があります)
文字数に制限はありません。

Address Book での表示例：



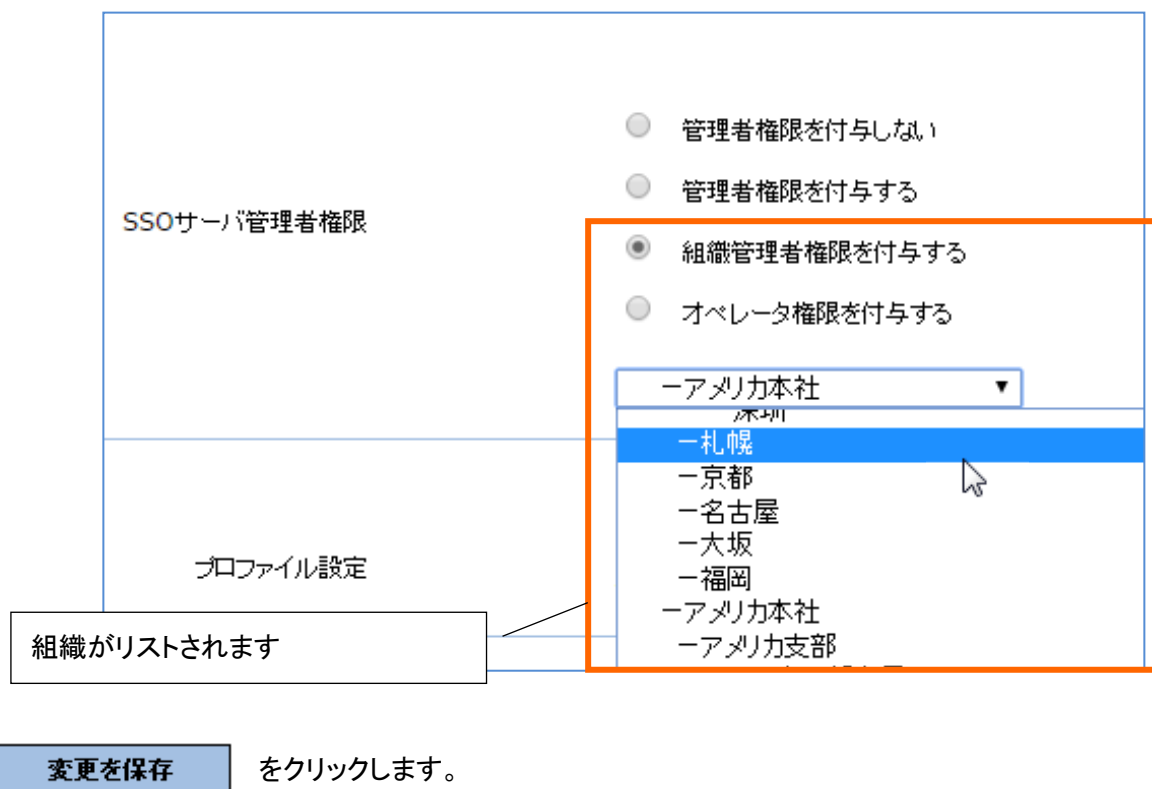
2.8 SSO サーバ管理権限設定

SSO 管理者サイトにおける限定的な操作権限を持つ管理者を設定します。一般的に、アカウントの管理機能のみを委任する場合にご利用いただけます。通常ご利用の SSO 管理者サイト URL と同じ URL にアクセスして利用することができます。

2.8.1 組織管理者権限設定

組織管理者は、指定された組織配下のアカウント操作権限を持つ管理者となります。

各アカウントの詳細画面の「組織管理者権限を付与する」を選択し、プルダウンメニューから管理対象の組織を選択します。



組織管理権限を保有するユーザーは、SSO 管理者サイトから以下の操作を行うことが可能です。

- ・指定された組織配下のアカウント管理（閲覧・更新）
- ・アカウントの更新においては、以下の更新操作は限定されます。
 - アカウントの SSO 管理者権限情報は設定不可能
- ・「登録状況確認」の閲覧（他組織への登録を含む全件が閲覧対象となります）

組織管理者が SSO 管理者サイトにアクセスすると、以下のような画面が表示されます。

アカウント管理メニューのみが表示されます。他の管理者サイトメニューは表示されません。

アカウント管理▼

アカウント一覧

部署一覧
 白- アメリカ本社
 白- アメリカ支部
 アメリカ西部支局
 アメリカ東部支局
 アメリカ北部支局
 アメリカ南部支局
 アメリカ中央部支局

すべての組織から [検索] [新規作成]

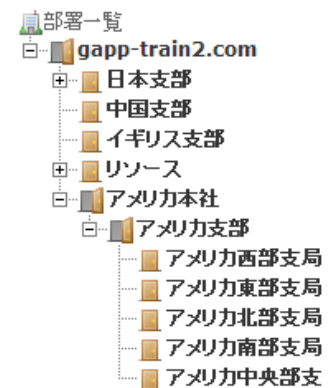
削除 プロフィール適用

アカウントID	ドメイン	Google連携	ロック状態	設定プロフィール	SSO管理者権限
dummy	gapp-train2.com	●		★ デフォルトプロフィール	

削除 プロフィール適用 新規作成

アカウント一覧の組織ツリーは、
組織管理者に割り当てられた組織配下の
階層のみが表示され、
他の組織は表示されません。

例: SSO 管理者が操作できる
実際の全体組織階層⇒



組織管理者によるアカウント情報の更新においては、操作できる範囲に制限があります。

・管理者権限の項目は表示されません。

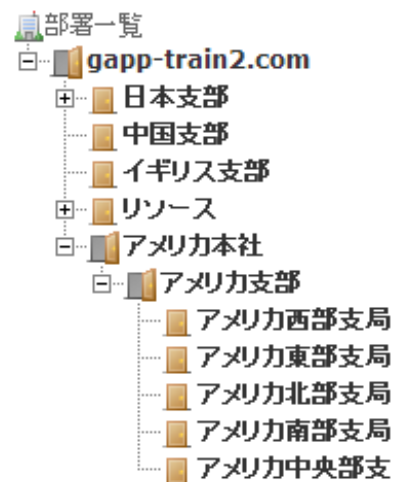
SSOサーバ管理者権限

- ☒ 管理者権限を付与しない
- ☐ 管理者権限を付与する
- ☐ 組織管理者権限を付与する
- ☐ オペレータ権限を付与する

【組織管理者操作時の注意事項】

1. 「組織管理者」「オペレータ」に権限を割り当てられる組織は 1 つとなります。割り当てられた組織の配下すべての組織に対してアカウント変更権限を有します。

例: 右記の組織例で、「アメリカ本社」を設定した場合は、アメリカ本社を含む、アメリカ支部とそれ以下の全組織に対し権限を持ちます。「アメリカ東部支局のみ権限対象外」とすることはできません。



2. 同一階層で複数の組織を割り当てることはできません。

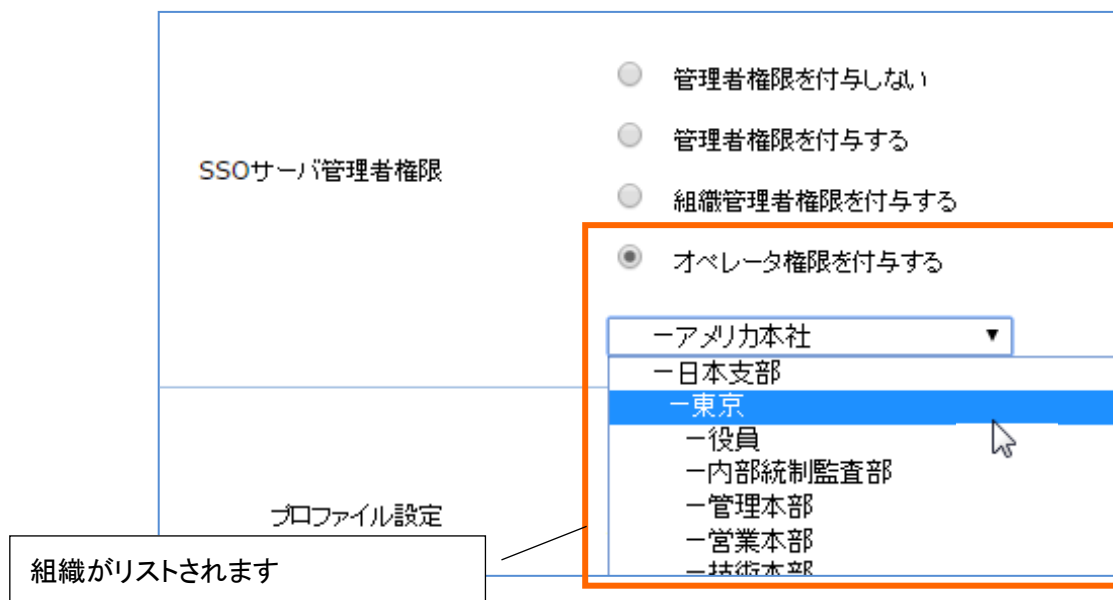
例: 右記の組織例で、「日本支部」と「中国支部」のみを権限対象とすることはできません。

3. マルチドメイン構成でご利用の場合、対象アカウントが所属するドメイン内の組織のみが管理対象となります。他ドメインの組織を管理対象組織とすることはできません。

2.8.2 オペレータ権限設定

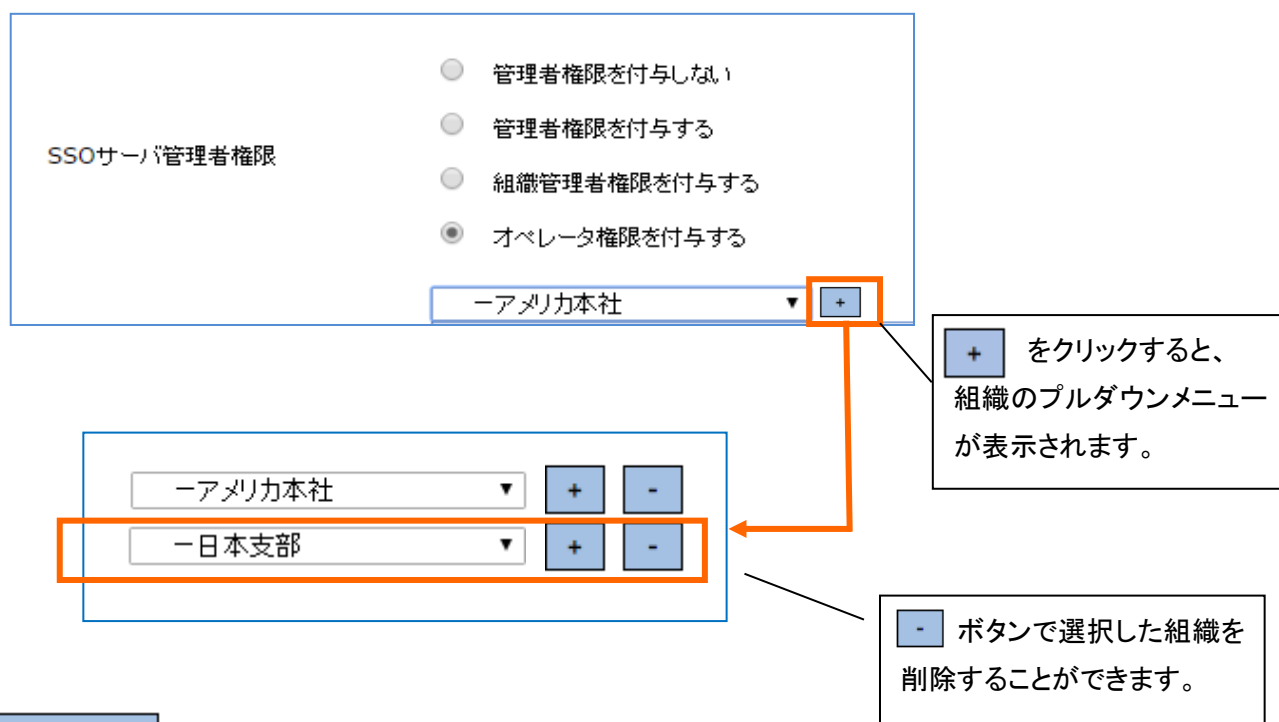
オペレータ権限は、指定された組織配下の「管理者権限を付与しない」の権限が付与されているアカウントに対して、特定のアカウント更新操作のみ権限を持つ管理者となります。

各アカウントの詳細画面の「オペレータ権限を付与する」を選択し、プルダウンメニューから管理対象の組織を選択します。



オペレータ権限には最大 10 個の組織を割り当てることができます。

複数の組織を選択する場合は、プルダウンメニュー右の  ボタンをクリックして組織を追加します。



変更を保存

をクリックして設定内容を保存します。

オペレータ権限を保有するユーザーは、SSO 管理者サイトから以下の操作を行うことが可能です。

- ・指定された組織配下のアカウント更新操作とアカウント情報の閲覧（※別途お申し込みの場合に表示されます）

1. アカウント更新操作

- ・次回パスワード変更要求
- ・アカウントロック解除
- ・Google Apps パスワードリセット
- ・PC 端末制限 [個人端末 PC] 端末情報クリア
- ・スマートフォン端末制限 端末情報クリア ※
- ・携帯端末 ID 制限 [個人端末 ID](携帯オートログイン ID) 端末情報クリア
- ・Google Sync 連携 端末情報クリア

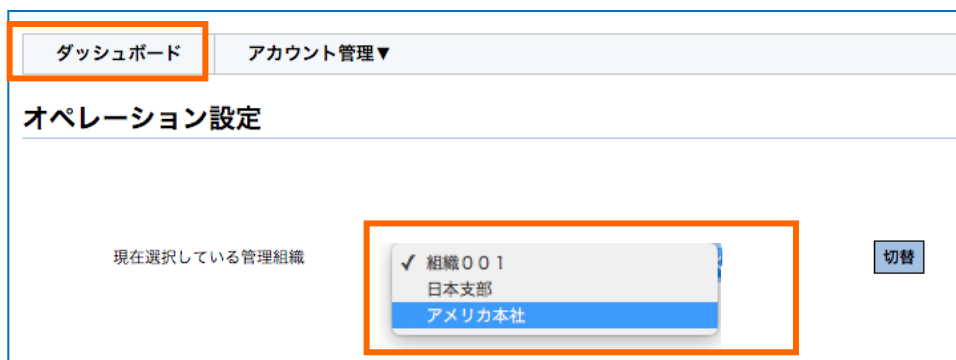
2. アカウント情報の閲覧

- ・ディレクトリーサーバー
- ・Google アカウント ID
- ・アクセス履歴

2.8.3 オペレータの操作

オペレータ権限を保有するユーザーが SSO 管理者サイトにアクセスすると、以下のダッシュボード画面が表示されます。

複数の組織を割り当てられているユーザーは、こちらの画面より組織の切替を行います。



ユーザーに割り当てられている組織がリスト表示されます。プルダウンメニューより、組織を選択して

切替

ボタンをクリックします。

アカウント管理画面の組織ツリーが、ダッシュボード画面で設定した管理対象の組織に切り替わります。

アカウント管理は以下の画面から行います。



アカウント一覧の組織ツリーは、「ダッシュボード」画面で設定した組織配下の階層のみが表示され、他の組織は表示されません。

例: SSO 管理者が操作できる
実際の全体組織階層⇒

他の組織を表示させる場合は、「ダッシュボード」画面より組織の切り替えを行います。



組織ツリー、検索からは、管理組織配下の「管理者権限を付与しない」を割り当てられている一般ユーザーのみ表示されます。管理者、組織管理者、オペレータの権限を割り当てられているユーザーは表示されません。

【オペレータ操作時の注意事項】

1. 「オペレータ」に権限を割り当てられる組織は最大 10 個となります。割り当てられた組織の配下すべての組織に対してアカウント変更権限を有します。同一階層で複数の組織を割り当てることもできます。
2. マルチドメイン構成でご利用の場合、対象アカウントが所属するドメイン内の組織のみが管理対象となります。他ドメインの組織を管理対象組織とすることはできません。

3 セキュリティ設定

SSO 管理者サイトのセキュリティ設定画面より、Google Apps アクセス全般に関わるセキュリティ設定を行います。



セキュリティ設定画面:

セキュリティ設定

プロフィール選択

プロフィール名

パスワード必須文字数

パスワード必須文字種別 ☐ 英字 ☐ 英大文字 ☐ 英小文字 ☐ 数字 ☐ 記号

※大文字・小文字の区別をせずに、英字を必須にする場合は「英字」のみチェックしてください。

パスワード有効期限 日

※ユーザが最後にパスワードを変更してから上記日数経過後、ユーザにパスワード変更を促します。

前回パスワード入力 ☐ 許可する ☒ 許可しない

ロックアウトまでのサインオン試行回数 ※0の場合アカウントロックが無効になります。

ロック期間 日と 時間 分

アクセス履歴保存最大数

トークン認証 ☐ 有効にする

アクセス制限 [\(設定例\)](#)

☐ リモートIP制限

※許可するIPアドレスを入力してください。
IPアドレスごと改行が必要です。

☐ 携帯キャリア制限 [詳しく](#)

☐ DoCoMo ☐ au ☐ SoftBank

※許可するキャリアを選択してください。

☐ 携帯端末ID制限

☐ 個人端末ID

☐ 社用端末ID [社用端末ID一覧](#)

☐ PC端末制限

登録許可端末数

※登録許可端末数を登録済み端末数以下に変更する場合、
登録可能数以上登録しているユーザの登録済端末は全てクリアされます。

POP/IMAPアクセス制限

☐ POP/IMAPアクセス制限

☐ リモートIP制限

※許可するIPアドレスを入力してください。
IPアドレスごと改行が必要です。

※「ユーザに適用」はプロフィールの保存後に実施してください。

Copyright(C) International Systems Research Co. 2008-2010. All Rights Reserved.

プロフィールの新規作成方法は
「3.2.1 プロファイル新規作成」をご
参照下さい。

各項目の設定方法については、
「3.1 セキュリティ設定項目詳細」
をご参照下さい。

3.1 セキュリティ設定項目詳細

プロファイルの各機能は以下の通りです。

※プロファイル新規作成方法は「3.2.1 プロファイル新規作成」をご参照下さい。

3.1.1 アクセス制限

SSO ログイン経由で Google Apps へのアクセスを許可する IP アドレス、携帯電話端末、PC 端末の設定を行います。

◆リモート IP 制限

チェックボックスを選択し、アクセス許可する IP アドレスを設定します。

許可 IP アドレスの登録について

- ・ xxx.xxx.xxx.1/26 (サブネットマスク表記)が可能です
- ・ * (アスタリスク)を用いた設定はできません (例: 123.456.789.*)
- ・ グローバル IP アドレスを登録する必要があります。ローカル IP アドレスでは制御できません
- ・ X-Forwarded-For の IP アドレスでは制御できません

(次ページへ続きます)

◆携帯キャリア制限

キャリアが公開する、携帯電話のモバイルブラウザ（i-mode ブラウザ、ezweb ブラウザ、Y!ブラウザなど）の IP アドレスに対し、アクセス許可/不許可の設定を行うことができます。

「携帯キャリア制限」のチェックが OFF の場合、すべてのキャリアの IP アドレスからのアクセスが許可されている状態です。

※キャリア側の仕様により、iOS や Android などのスマートデバイスは本機能の**対象外の端末**もありますのでご注意ください。

※フルブラウザは携帯キャリア制限に含まれません

機能ご利用前に、必ず
詳しく をクリックして
表示される解説をご確認
ください。

PC端末制限 [詳しく](#)

個人端末PC 登録許可端末数 1 ▼

※登録許可端末数を登録済み端末数以下に変更する場合、
登録可能数以上登録しているユーザーの登録済端末は全てクリアされます。

社用端末PC [社用端末一覧](#)

社用端末 ID 一覧をクリックす
ると登録済みの社用端末 ID を
確認できます

◆PC 端末制限

PC や iOS や Android などのスマートデバイスの Web ブラウザからアクセスする場合で、リモート IP 制限で許可外 IP アドレスからアクセスすることができる端末を、ブラウザ単位で制御する機能です。

プロフィール毎に登録許可端末数を定めることができます。

携帯端末 ID 制限、PC 端末制限の詳しい設定方法と仕様に関しては、別途

- Cloud Gate SSO_携帯端末 ID 制限.pdf
- Cloud Gate SSO_PC 端末制限.pdf

上記資料を準備しておりますので、そちらもご参照ください。

3.1.2 パスワードポリシー設定



パスワードに関する注意事項は「4 パスワード」もご参照下さい。Active Directory のパスワードポリシーと Cloud Gate のパスワードポリシーは重複させない設定を推奨します。

ユーザーが設定するパスワードの強度や、有効期限、アカウントロックの設定を行います。

パスワード必須文字数	8	パスワード必須文字数は 8～99 の間で設定します。 ※Google Apps の制限により、パスワードの最小文字数は 8 文字となっています。
パスワード必須文字種別	☐ 英字 ☐ 英大文字 ☐ 英小文字 ☐ 数字 ☐ 記号	
パスワード有効期限	99999 日	パスワード有効期限は 1～99999 の間で設定します。
前回パスワード入力	☐ 許可する ☒ 許可しない	
ロックアウトまでのサインオン試行回数	5 ※0の場合アカウントロックが無効になります。	
ロック期間	0 日と 0 時間 20 分	

ロックアウト設定

設定した回数を連続してサインオンに失敗すると、自動的にアカウントロックする設定を行います。

サインオン試行回数が「0」の場合、ロックはかかりません。

ロック期間を過ぎると、自動的にアカウントロックは解除されます。

注)サインオン試行回数を設定しても、ロック期間が「0」の場合、ロックはかかりません。

※ アカウントロックは、あくまで SSO ログイン経由でのログインを無効にする機能で、Google Apps アカウントには影響を与えません。

※ アカウントロックを手動で解除する方法は「4.5 アカウントロック解除」を参考ください。

3.1.3 アクセス履歴最大保存数

サーバ上で保存するアクセス履歴の保存件数を設定します。

アクセス履歴は、ユーザー情報詳細画面より確認可能です。また、ダウンロード画面から一括ダウンロードも可能です。

アクセス履歴保存最大数 999

履歴保存最大数は 1～999 の間で設定します。

3.1.4 スマートフォン端末制限

※オプションで「スマートフォン端末制限」をお申込みされた場合のみ表示されます。

チェックボックスを選択すると、スマートフォン端末制限用専用アプリからの認証を行うことができるようになります。

☒ スマートフォン端末制限

登録許可端末数 1

※『スマートフォン端末制限オプションマニュアル』もあわせてご参照ください。

3.1.5 POP/IMAP アクセス制限

※オプションで「POP/IMAP アクセス制限」をお申込みされた場合のみ表示されます。

POP/IMAP アクセスを許可する IP アドレスを設定します。

POP/IMAPアクセス制限 ☒ POP/IMAPアクセス制限

☒ リモートIP制限

※許可するIPアドレスを入力してください。
IPアドレスごとに改行が必要です。

※『POP/IMAP 制限オプションマニュアル』もあわせてご参照ください。

3.2 プロファイル設定

セキュリティプロファイル(以下、プロファイル)を複数作成し、ユーザーに適用することで、ユーザー毎、グループ毎に異なるセキュリティ設定を行うことが可能です。

プロファイルは、セキュリティ設定のテンプレートのような役割を果たします。よって、プロファイルを作成したあと、**必ず**ユーザーへ”プロファイル適用”の作業を行う必要がありますのでご注意ください。

3.2.1 プロファイル新規作成

① セキュリティ設定画面を開き、プロファイル名を入力します。

※オプションで「プロファイル設定」をお申込みされた場合のみ、プロファイル選択とプロファイル名の項目が表示されます。

The screenshot shows the 'セキュリティ設定' (Security Settings) page. It has two main input areas: 'プロファイル選択' (Profile Selection) with a dropdown menu showing '--プロファイルを選択してください--' (Please select a profile), and 'プロファイル名' (Profile Name) with a text input field containing 'general_staff'.

② 各セキュリティ設定の値を入力します。(3.1 セキュリティ設定項目詳細 をご確認ください)

③ **プロファイルを保存** をクリックします。

新規プロファイルを作成しました。メッセージが表示されます。

This screenshot shows the 'セキュリティ設定' (Security Settings) page with the 'プロファイル選択' (Profile Selection) dropdown menu open. The menu lists several options: '--プロファイルを選択してください--', '--プロファイルを選択してください', 'デフォルトプロファイル', '営業部', 'アクセス制限あり', 'POP/IMAPデモ', 'Suzuki_test用', 'shiba_test', and 'general_staff' (which is highlighted). Below the dropdown, there are checkboxes for '英大文字', '英小文字', '数字', and '記号', and a text input for 'パスワード有効期限' (Password validity period).

プロファイルを選択 をクリックすると、作成したプロファイルが表示されます。

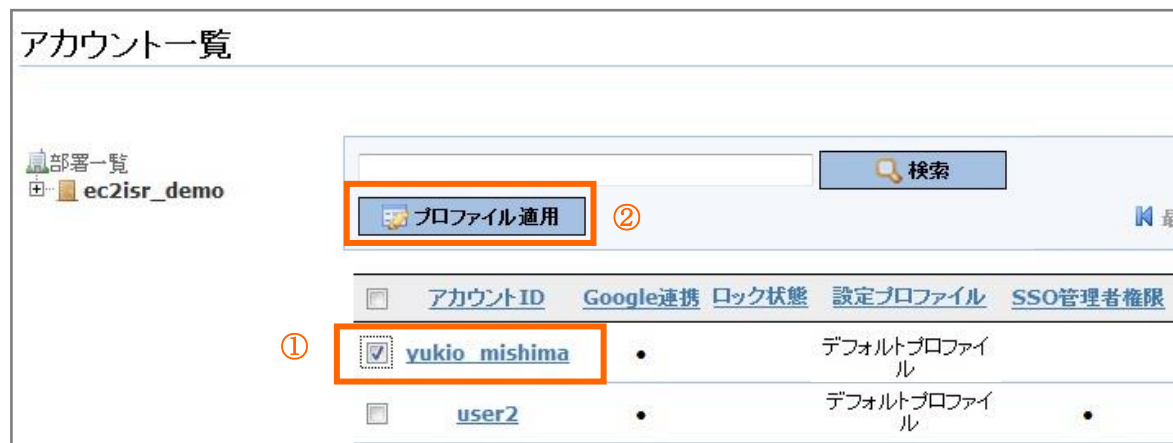
general_staff

※ プロファイルはいくつでも作成していただけます。

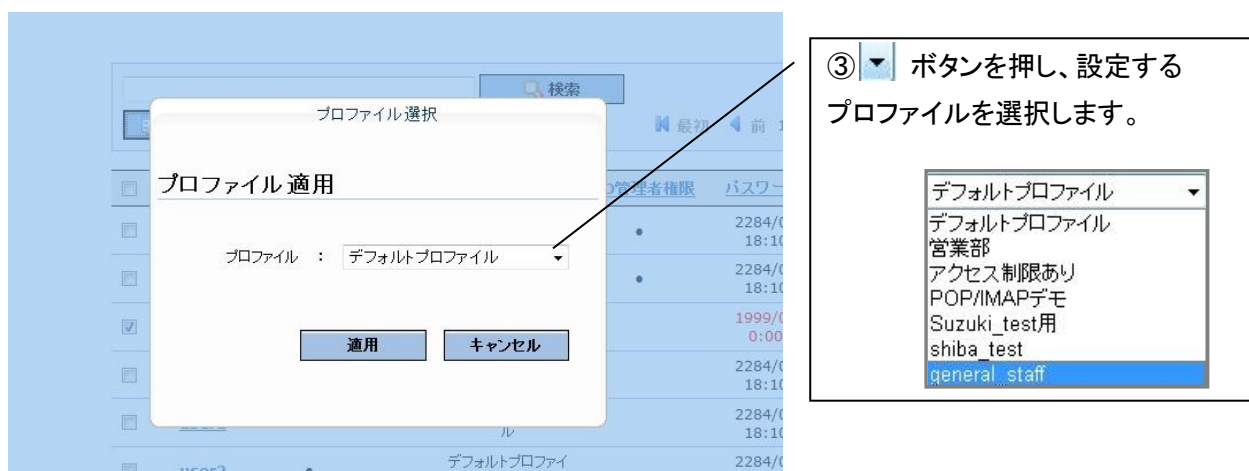
3.2.2 プロファイル適用

作成したプロファイルは**ユーザーに適用**することで、ユーザーのセキュリティ設定に反映させることができます。

- ① **アカウント一覧**画面から、適用したいアカウントのチェックボックスを選択します。(複数選択可)
- ③ プロファイル適用ボタンが有効になります。**プロファイル適用**をクリックします。



プロファイル適用画面が表示されます。



- ④ **適用**をクリックします。

- ⑤ **プロフィールを適用しました。**メッセージが表示され、プロフィール適用完了です。



3.2.3 プロファイル更新

作成済みプロファイルを編集します。

- ① セキュリティ設定画面で、更新したいプロファイルを選択します。

セキュリティ設定

プロファイル選択: ---プロファイルを選択してください▼

プロファイル名:

---プロファイルを選択してください▼

- プロファイルを選択してください▼
- デフォルトプロファイル
- 営業部
- アクセス制限あり
- POP/IMAPデモ
- Suzuki_test用
- shiba_test
- general_staff

プロファイルに設定されている各セキュリティ設定の値が表示されます。

セキュリティ設定

プロファイル選択: general_staff▼

プロファイル名: general_staff

パスワード必須文字数: 8

パスワード必須文字種別: ☒ 英字 ☐ 英大文字 ☐ 英小文字 ☒ 数字 ☐ 記号

※大文字・小文字の区別をせずに、英字を必須にする場合は「英字」のみチェックしてください。

パスワード有効期限: 90 日

※ユーザが最後のパスワードを変更してから上記日数経過後、ユーザにパスワード変更を促します。

前回パスワード入力:

(中略)

パスワード有効期限: 60 日

アクセス履歴保存最大数: 30

プロフィールを保存 プロフィールを削除 ユーザに適用

※「ユーザに適用」はプロフィールの保存後に実施してください。

- ② 更新したい箇所を修正し、**プロフィールを保存** をクリックします。

- ③ **プロフィールを更新しました。**メッセージが表示され、更新完了です。

セキュリティ設定

プロフィールを更新しました。

プロファイル選択: general_staff▼

(ユーザーに更新を適用する場合、次のステップへ進みます)

④ 当該プロフィールを既に適用済みのユーザーに対し、更新内容を一緒に適用する場合は、プロフィール更新後、そのままの画面で ユーザーに適用 をクリックします。

※ プロフィールを更新しても「ユーザーに適用」を行わない場合は、各ユーザーのセキュリティプロフィール設定が更新されませんのでご注意ください。

セキュリティ設定

プロフィールを更新しました。

プロフィール選択: general_staff

プロフィール名: general_staff

パスワード必須文字数: 8

パスワード必須文字種別: ☒ 英字 ☐ 英大文字 ☐ 英小文字 ☒ 数字 ☐ 記号
※大文字・小文字の区別をせずに、英字を必須にする場合は「英字」のみチェックしてください。

パスワード有効期限: 60 日
※ユーザーが最後にパスワードを変更してから上記日数経過後、ユーザーにパスワード変更を促します。

前回パスワード入力: ☐ 許可する ☒ 許可しない

アクセス制限: ☐ リモートIP制限 (設定例)

(中略)

キャリア: ☐ docomo ☐ au ☐ SoftBank
※許可するキャリアを選択してください。

☐ 携帯端末ID制限 ☐ 個人端末ID

プロフィールを保存 プロフィールを削除 **ユーザーに適用**

※「ユーザーに適用」はプロフィールの保存後に実施してください。

プロフィール更新完了後の画面です。

ユーザーに適用をクリックします。

⑤ **プロフィールを適用しました。**メッセージが表示され、ユーザー適用完了です。

※プロフィールを更新適用したアカウント数が表示されます。

セキュリティ設定

1アカウントにプロフィールを適用しました。

プロフィール選択: general_staff

プロフィール名: general_staff

3.2.4 プロファイル削除

①セキュリティ設定画面より、削除したいプロファイルを選択し、**プロファイルを削除** をクリックします。

セキュリティ設定

プロファイル選択 general_staff

プロファイル名 general_staff

パスワード必須文字数 8

パスワード必須文字種別 ☒ 英字 ☐ 英大文字 ☐ 英小文字 ☒ 数字 ☐ 記号

※大文字・小文字の区別をせずに、英字を必須にする場合は「英字」のみチェックしてください。

パスワード有効期限 90 日

※ユーザーが最後にパスワードを変更してから上記日数経過後、ユーザーのプロード変更を促します。

前回パスワード入力 パスワード

(中略)

アクセス履歴保存最大数 30

プロファイルを削除 **プロファイルに適用** **ユーザーに適用**

※「ユーザーに適用」はプロファイルの保存後に実施してください。

プロファイル削除確認 (general_staff)

プロファイル適用ユーザ yukio_mishima

※削除した場合、当プロファイル適用ユーザはデフォルトプロファイルに変更されます。
※当プロファイル適用ユーザ数によっては時間が掛かる場合があります。

削除 **キャンセル**

削除するプロファイルが現在適用されている
アカウント ID が表示されます。

②**プロファイルを削除しました。**メッセージが表示されます。

セキュリティ設定

プロファイル削除しました。

プロファイル選択 --プロファイルを選択してください--

アカウント一覧

部署一覧 ec2isr_demo

検索

プロファイル適用

最初

アカウントID Google連携 ロック状態 設定プロファイル SSO管理者権限

yukio_mishima • デフォルトプロファイル

削除したプロファイルが適用されていた
ユーザは、**デフォルトプロファイル**
に設定変更されています。

3.2.5 個人プロフィール更新

アカウント個別でプロフィールの設定を変更することができます。

①アカウント一覧画面より、アカウント ID をクリックします。

アカウント一覧

部署一覧 ec2isr_demo

検索

表示件数: 50 件

最初 前 1 - 10 / 10 次 最後

☐	アカウントID	Google連携	ロック状態	設定プロフィール	SSO管理者権限	パスワード期限	最終サインオン
☐	terada_r	•		アクセス制限あり		2109/11/01 0:00:00	未サインオン
☐	torii_n	•		アクセス制限あり		2109/11/01 0:00:00	未サインオン
☐	yukiko_mishima	•		アクセス制限あり		2284/04/26 9:43:36	未サインオン

②アカウント詳細情報画面の中ほどの、[プロフィール設定ウィンドウを開きます](#) をクリックします。

yukiko_mishima

* マークは入力必須項目です。空白での更新はできません。
表示名・所属・役職は Cloud Gate Address Book をご利用の場合、表示される項目です。
パスワードは入力がある場合のみ更新します。
ノートキーには半角英数で10文字までの入力が可能で、Unicode順にソートされます。

部署 - 006_企画部

yukiko_mishima@

☒ 管理者権限を付与しない

プロフィール設定

アクセス制限あり

[プロフィール設定ウィンドウを開きます](#)

別画面で、現在適用されているプロフィール設定が表示されます。

③変更したい箇所の設定を更新して、**保存** をクリックします。

yukiko_mishima

プロファイル選択

アクセス制限あり

コピー

パスワード必須文字数

8

パスワード必須文字種別

☒ 英字
 ☐ 英大文字
 ☐ 英小文字
 ☐ 数字
 ☐ 記号

※大文字・小文字の区別をせずに、英字を必須にする場合は「英字」のみチェックしてください。

パスワード有効期限

99999
 日

※ユーザが最後のパスワードを変更してから上記日数経過後、ユーザにパスワード変更を促します。

前回パスワード入力

☒ 許可する
 ☐ 許可しない

ロックアウトまでのサインオン試行回数

10

※0の場合アカウントロックが無効になります。

ロック期間

2
 日と
 0
 時間
 0
 分

アクセス履歴保存最大数

20

保存

閉じる

プロフィール設定ウィンドウは自動的に閉じます。

アカウント一覧画面で、個人プロフィールを更新したアカウントの設定プロフィールは、**青字で★**がついて表示されます。

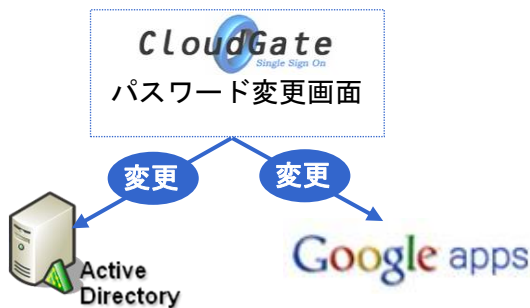
アカウント一覧						
部署一覧 ec2isr_demo 検索 表示件数: 50件 プロフィール適用 最初 前 1 - 10 / 10 次 最後						
☐	アカウントID	Google連携	ロック状態	設定プロフィール	SSO管理者権限	パスワード期限
☐	terada_r	•		アクセス制限あり		2109/11/01 0:00:00
☐	torii_n	•		アクセス制限あり		2109/11/01 0:00:00
☐	yukiko_mishima	•		★ アクセス制限あり		2284/04/26 9:43:36

4 パスワード

パスワードは、Active Directory・Google Apps でそれぞれ保持しています。SSO ログイン時に利用するのは **Active Directory 側のパスワード**です。

初回お申込み時に Active Directory と Google Apps のパスワードを **同期** か **非同期** のどちらを選択したかによって、Cloud Gate のパスワード変更処理機能と、パスワードの管理・運用方法が異なりますのでご注意ください。

◆ パスワード同期



【仕組み】

・Cloud Gate のパスワード変更画面からパスワードを変更すると Active Directory、Google Apps の両方のパスワードが同時に変更されます。

【運用】

・パスワード変更要求、有効期限設定等は全て **Cloud Gate** から行って下さい。

※Active Directory 側のパスワード有効期限とロックアウトの設定は全てオフにするか、Cloud Gate よりも長い期間を設定してパスワードポリシーが重複しないようご注意ください。

◆ パスワード非同期



【仕組み】

・Cloud Gate のパスワード変更画面からパスワードを変更すると **Active Directory のパスワードのみ**変更されます。(Google Apps のパスワードは、Google Apps コントロールパネルから管理者のみが変更可能で、ユーザが任意に変更することはできません。)

【運用】

・パスワード変更要求、有効期限設定等は全て **Active Directory** から行って下さい。

※Cloud Gate のパスワード有効期限は Active Directory よりも長い値を設定し、Active Directory のパスワードポリシーと重複しないようにします。

※社外・スマートフォン等からの接続で Active Directory に入れない場合は、Cloud Gate のパスワード変更画面の URL を入力し、そちらの画面上からパスワード変更を行い、ログインすることが出来ます。

4.1 パスワード変更

管理者権限によるユーザーのパスワードリセットの手順は、**同期** か **非同期** によって異なります。

それぞれご利用状況に応じて各項目をご参照ください。



Active Directory 接続用の AD 管理者アカウントのパスワードは変更しないでください。

変更が必要な場合は、サポート窓口までご相談ください。

GoogleAPI 用の管理者アカウントのパスワード更新については、以下をご参考ください。

◆ パスワード＜同期＞で設定しているお客様：

SSO 管理者サイトや SSO パスワード変更画面から更新すると、Google パスワードとして反映されます。

◆ パスワード＜非同期＞で設定しているお客様：

SSO 管理者サイトや SSO パスワード変更画面から更新しても **Google パスワードとして反映されません**。

Google 側のパスワードを更新したい場合、Google 管理コンソールからパスワード変更して下さい。

また、Cloud Gate ではシステムによる不定期の「ログインチェック」を行っております。テストアカウントとして GoogleAPI 用のアカウントをご指定頂いている場合、SSO 側のパスワードを変更されますとチェックが行えない為、弊社サポートからお客様に確認のメールをご連絡差し上げる場合がございます。あらかじめご了承ください。

(次ページへ続きます)

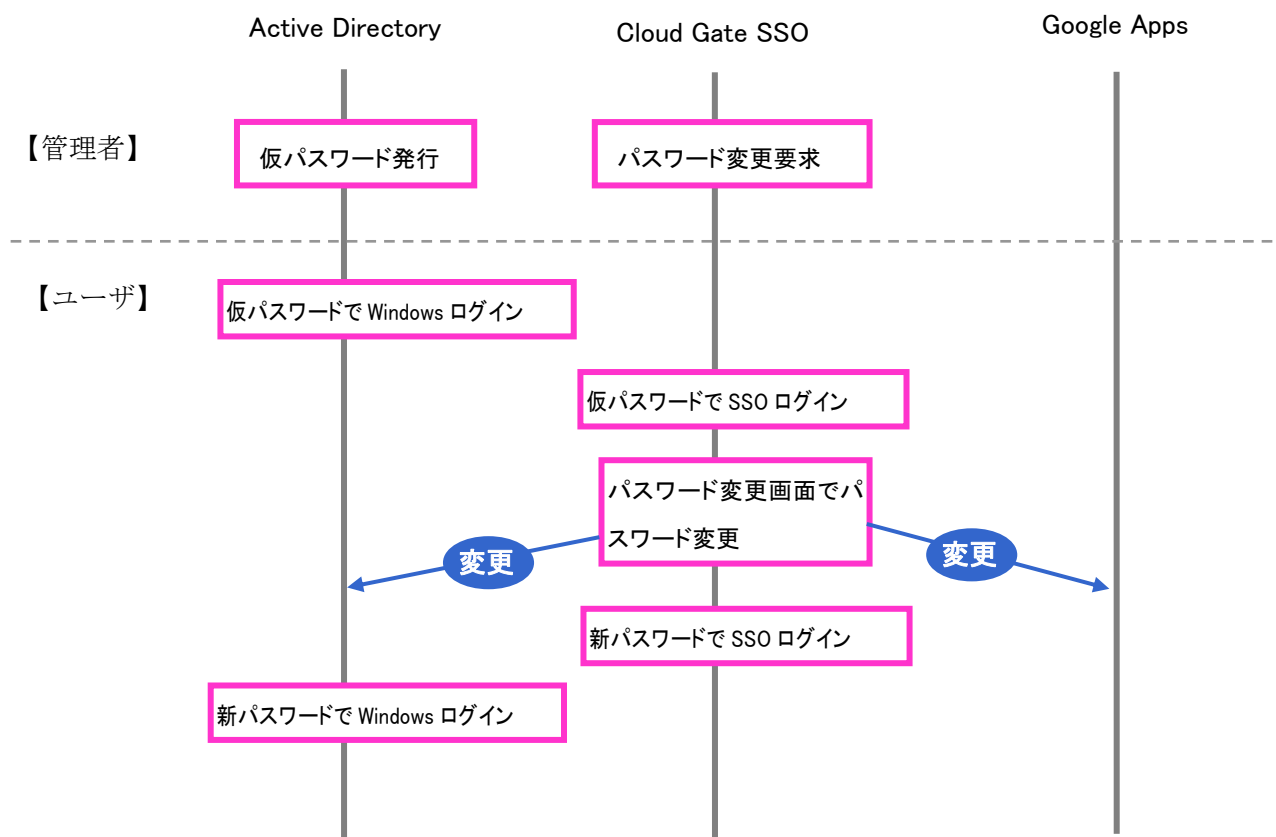
◆ パスワード同期

【管理者】

- ① Active Directory からユーザーの仮のパスワードを発行
- ② Cloud Gate SSO 管理者サイトから、パスワード変更要求を設定
- ③ ユーザーに①で設定した Active Directory の仮パスワードを通知

【ユーザー】

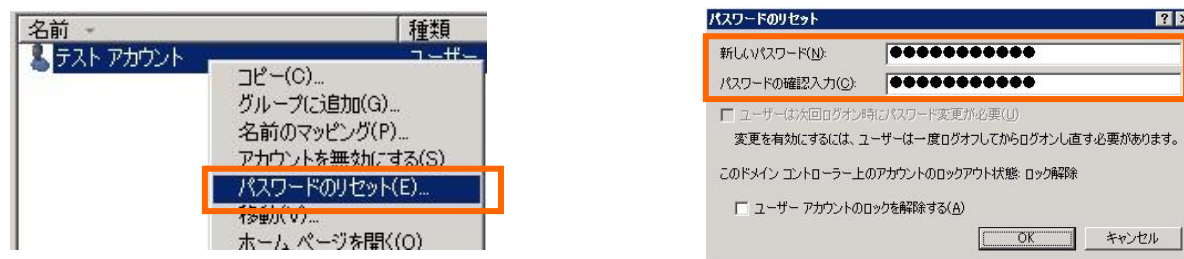
- ① 管理者から通知された Active Directory の仮パスワードで Windows ログイン
- ② ブラウザを起動して Google Apps にアクセス。SSO ログイン画面が表示
- ③ Active Directory の仮パスワードで SSO ログイン
- ④ Cloud Gate のパスワード変更画面が現れるので新しいパスワードを設定
- ⑤ Active Directory と Google Apps のパスワードが新しいパスワードに変更され、同期
- ⑥ 新しいパスワードで再度 SSO ログインし、Google Apps へログイン完了



[illegible]

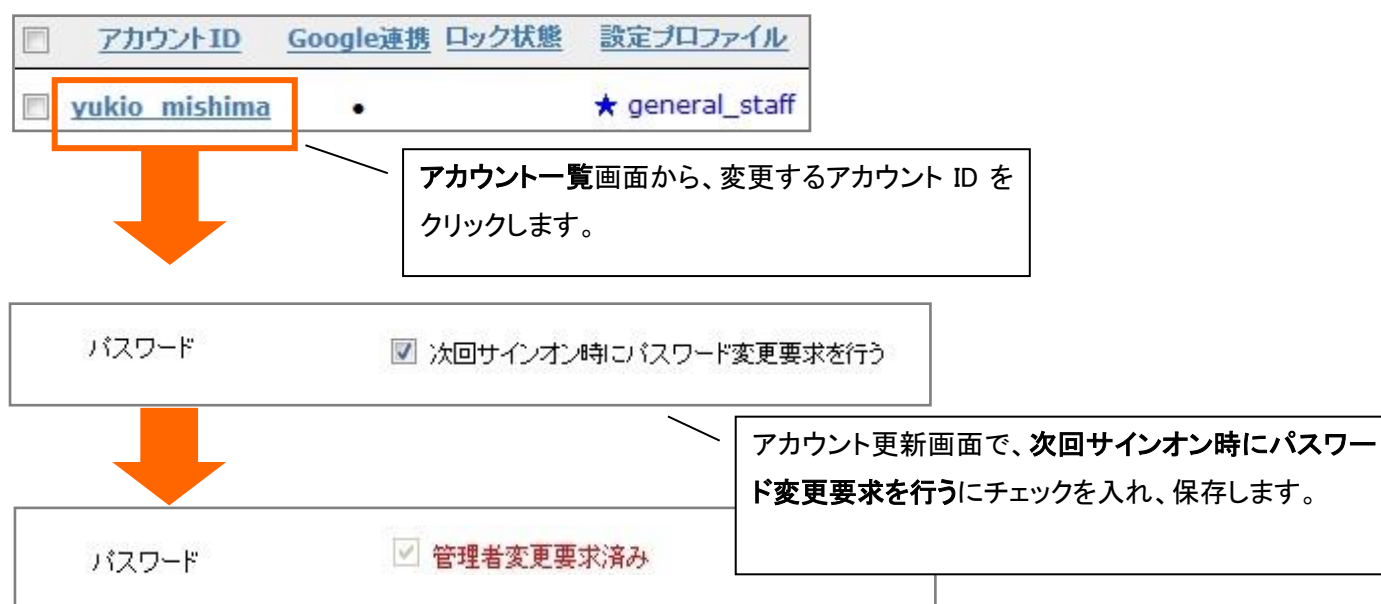
①Active Directory の管理画面からユーザーカウントの仮パスワードを設定し、パスワードをリセットします。

管理者側 Active Directory 画面:



②SSO 管理者サイトから、ユーザーのパスワード変更要求を出します。

操作については下記の手順をご参照下さい。



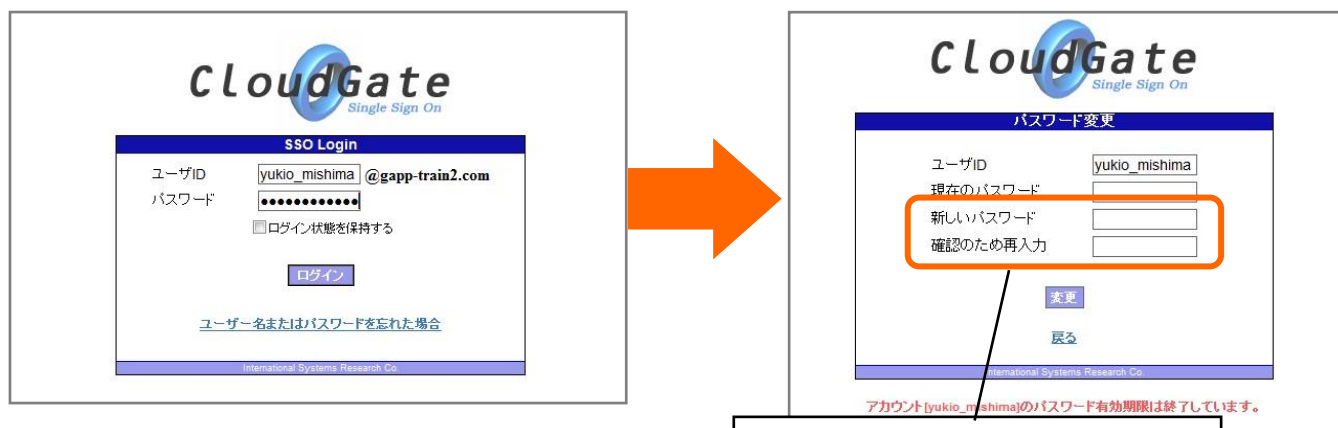
保存すると、**管理者変更要求済み**と表記されます。

一旦設定したパスワード変更要求は、取り消すことができません。

③ユーザーに、①で設定した仮パスワードを通知します。

[illegible]

- ①ユーザーは、管理者に通知された仮のパスワードで Windows ログイン
(未 Windows ログインだった場合)
- ②ブラウザを起動し、Google Apps にアクセス
- ③仮のパスワードで SSO ログイン
- ④パスワード変更画面が表示



- ⑤ユーザーは、Cloud Gate パスワード変更画面から、
任意のパスワードを設定します。

※ 現在のパスワードは、Active Directory の
仮パスワードを入力します。

ここで新しく設定したパスワードが
SSO ログイン時・Windows ログイン時
ともに適用されます。

- ⑥新しいパスワードで再度 SSO ログインし、Google Apps へログイン完了

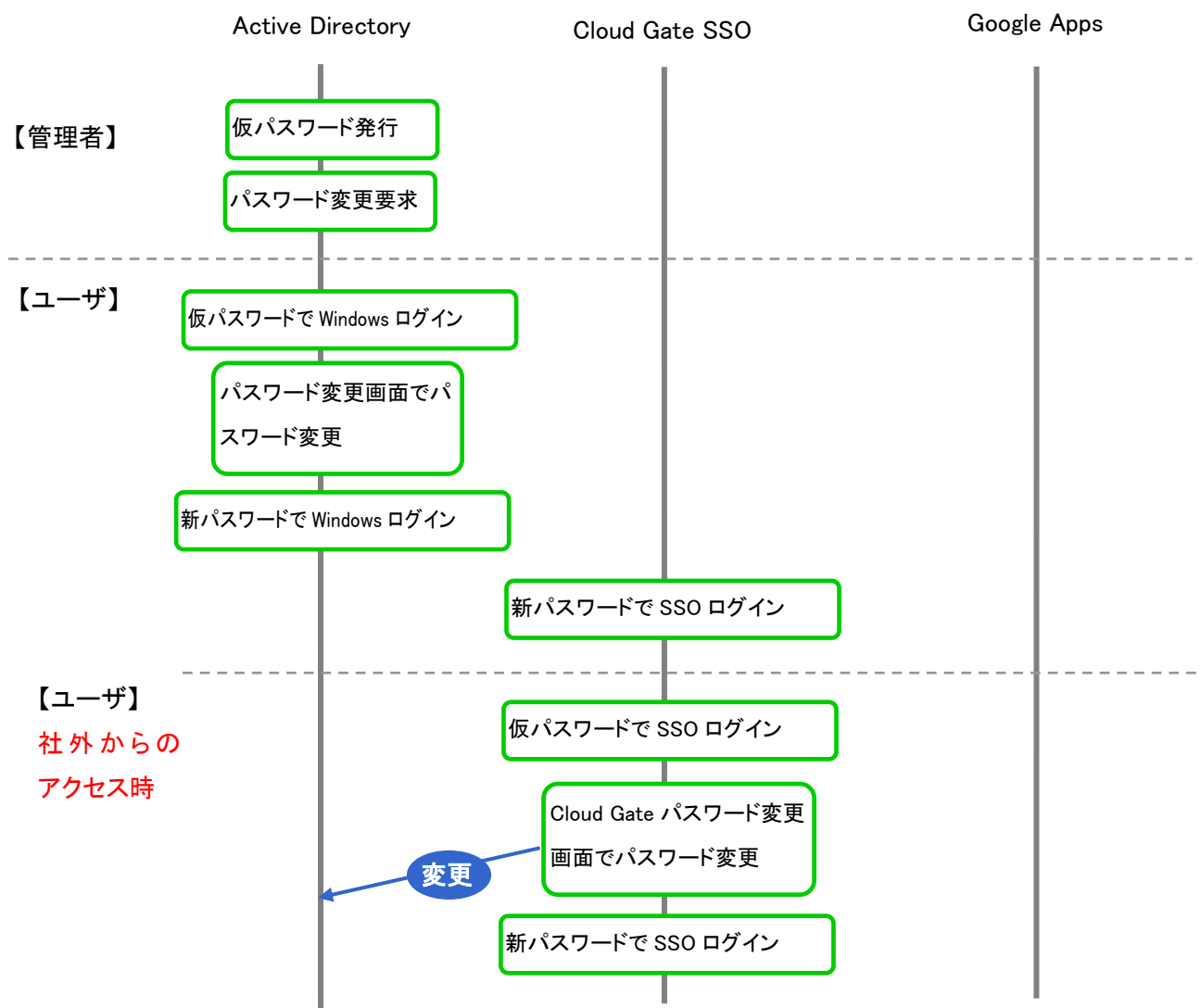
◆ パスワード非同期

【管理者】

- ④ Active Directory からユーザーの仮のパスワードを発行
- ⑤ Active Directory の機能で次回ログイン時にパスワード変更要求を設定
- ⑥ ユーザーに①で設定した Active Directory の仮パスワードを通知

【ユーザー】

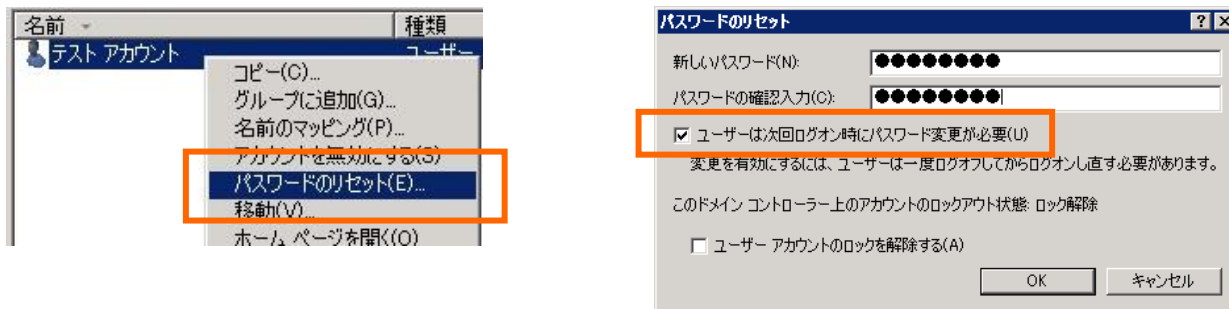
- ① 管理者から通知された Active Directory の仮パスワードで Windows ログイン
- ② パスワード変更要求画面が表示。新しいパスワードを設定
- ③ 新しいパスワードで Windows ログイン
- ④ ブラウザを起動して Google Apps にアクセス。SSO ログイン画面が表示
- ⑤ 新しいパスワードで SSO ログインし、Google Apps へログイン完了



[illegible]

- ①Active Directory の管理画面からユーザーカウントの仮パスワードを設定し、パスワードをリセットします。
- ②その際、「ユーザーは次回ログオン時にパスワード変更が必要」にチェックを入れます。

管理者側 Active Directory 画面:



- ③ユーザーに、①で設定した仮パスワードを通知します。

[illegible]

- ①ユーザーは、管理者に通知された仮のパスワードで Windows ログイン
- ②パスワード変更画面から新パスワードを設定。



ここで新しく設定したパスワードが SSO ログイン時・Windows ログイン時ともに適用されます。

- ### ③新パスワードで再度 Windows ログイン



- #### ④ブラウザを起動、Google Apps にアクセス

- ⑤SSO ログイン画面から新パスワードで Google Apps にログインします



4.2 ユーザーによるパスワード変更

ユーザーが任意のタイミングでパスワード変更を行う場合、手順はパスワード **同期** か **非同期** によって異なります。

それぞれご利用状況に応じて各項目をご参照ください。

(次ページへ続きます)

◆ パスワード同期

パスワード同期設定の場合、全てのユーザーは以下の手順でパスワード変更を行います。

①Gmail にログインし、画面右上の歯車のアイコンをクリックし、[設定] を選択します。



②「アカウント」タブより、「Google アカウントの設定」リンクをクリックします。



① パスワードを変更」リンクをクリックすると、パスワード変更画面が表示されます。



パスワード＜同期＞設定のお客さまは、この画面から変更したパスワードが Active Directory と Google 双方に反映されます。
次回 Windows ログオンのパスワードなどもここで設定した値になります。

【注意】Google Apps 特権管理者ユーザーのパスワード変更について

Google Apps の特権管理者権限を保持しているユーザーが、4.3 の手順を実施すると、SSO のパスワード変更画面は表示されず、Google のパスワード変更画面が表示されます。

(2013.08.30 時点で確認できる仕様です)

Google Apps 特権管理者ユーザーが SSO のパスワードを変更する場合、SSO の「パスワード変更 URL」に直接アクセスし、パスワード変更を行ってください。
「パスワード変更 URL」は、サービス開通通知書に記載しておりますが、下記の URL 形式になります。

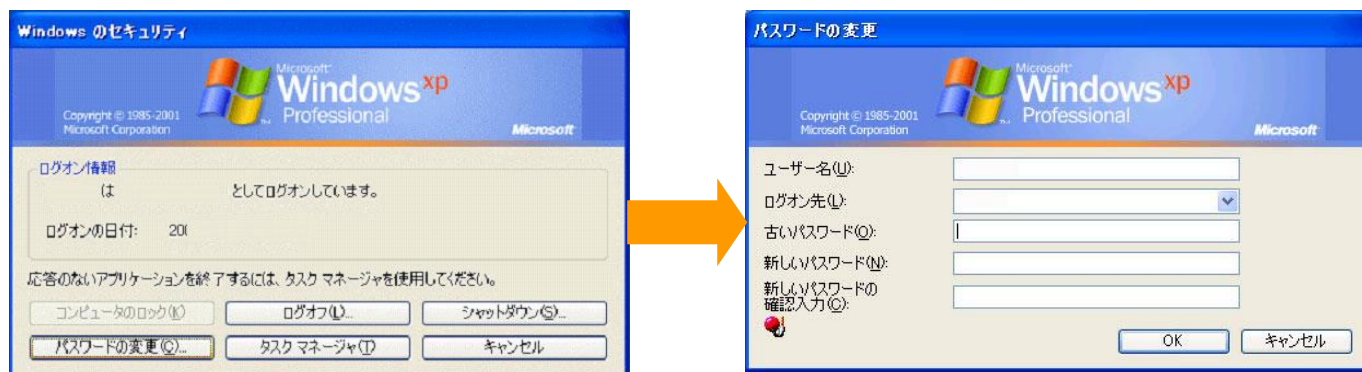
https://cloudgate.jp/お客様 ID/change_password.jsp



◆ パスワード非同期

パスワード非同期の設定の場合、パスワード変更は基本的に Active Directory のパスワードを直接変更する運用になります。

Ctrl+Alt+Delete で表示されるパスワード変更画面からパスワードを変更します。



この画面で変更したパスワードが、Google Apps に SSO 経由でログインするパスワードにもなります。

◆ Active Directory を直接変更できない場合

モバイル環境など社外ネットワークを利用中で、Active Directory に接続できない環境からパスワード変更を行いたい場合は、「パスワード同期」の場合と同様の手順で表示される Cloud Gate パスワード変更画面より、変更を行います。(前ページを参照ください)

Gmail > 設定 > アカウント > Google アカウントの設定 > パスワードを変更

パスワード<非同期>設定のお客さまは、この画面から変更したパスワードは **Active Directory にのみ**反映されます。
次回 Windows ログオンのパスワードなどもここで設定した値になります。

4.3 パスワード有効期限切れ

Cloud Gate のセキュリティ設定のパスワード有効期限が切れたアカウントは、アカウント一覧画面で、パスワード期限の項目が**赤字**で表示されます。

※ Active Directory のパスワードポリシーで設定された有効期限を表示してはおりません。

☐ アカウントID	Google連携	ロック状態	設定プロファイル	SSO管理者権限	パスワード期限	最終サインオン
☐ user2	•		デフォルトプロファイル		2010/06/30 10:00:00	未サインオン

アカウント情報の詳細画面では、**パスワード有効期限切れ**と表記されます。

user2	
GoogleアカウントID	user2@g.isr.co.jp
パスワード	☒ パスワード有効期限切れ

ユーザーが期限切れのパスワードで SSO にログインすると、パスワード変更が要求されます。

ユーザ側 パスワード変更画面:

ユーザー側 SSO ログイン画面:



この画面から設定したパスワードは、**同期**の場合は Active Directory と Google Apps の両方に、**非同期**の場合は Active Directory にのみ反映されます。

ここで新しく設定したパスワードが SSO ログイン時・Windows ログイン時ともに適用されます。

4.4 Active Directory のパスワードポリシーとの兼ね合い

Active Directory でパスワードポリシーを設定していた場合、



Cloud Gate のパスワード変更画面からユーザーがパスワード変更を行うと、



「パスワード必須文字数」「パスワード必須文字種別」は、Active Directory のパスワードポリシーの設定値が優先され、Active Directory のポリシー規定値に合わないパスワードは、たとえ Cloud Gate のポリシー規定値をクリアしていても、パスワード更新に失敗します。

ただし、その他の Active Directory のパスワードポリシーの規定(過去〇世代のパスワード不許可など)は、Cloud Gate から変更するときは、その規定値が反映されませんのでご注意ください。

※Active Directory ヘシステムが admin 権限でパスワード更新するためこのような仕様となります。

また、「パスワード非同期」の設定にしている場合であっても、Cloud Gate のパスワード有効期限が切れていない状態であっても、SSO ログイン時 Active Directory のパスワード有効期限が切れている場合は、Cloud Gate のパスワード変更画面に移動し、パスワード変更をしなければ Google Apps にログインできません。

4.5 アカウントロック解除(パスワード同期 / 非同期 共通)

ユーザーのアカウントが SSO でロックされた場合、以下の手順で解除します。



ロックされたアカウントは、アカウント一覧画面で、ロック状態の項目に●が表示されます。

アカウント ID をクリックします。

☐	アカウントID	Google連携	ロック状態	設定プロフィール
☐	yukio_mishima	●	●	★ general_staff

アカウント情報更新画面で、**ロック解除をする** を選択します。

yukio_mishima

パスワード ☐ 次回サインオン時にパスワード変更要求を行う

アカウントロック

☐ ロックを解除しない
☒ ロックを解除する

ロック解除と同時に、パスワードリセットも行うと良いでしょう

設定を保存すると、ロックが解除されます。

アカウント一覧画面の表示も変わります。

☐	アカウントID	Google連携	ロック状態
☐	yukio_mishima	●	

※SSO 管理者サイト上でロック解除した後もログインできない場合、Active Directory 側でロックされている可能性がありますので、Active Directory 側のステータスをご確認下さい。

4.6 Google Apps パスワードをリセット

「パスワード非同期」のお客様で、POP/IMAP 制限サービスをご利用のお客様は、Google Apps 側のパスワードを任意の値に変更してしまうと一部機能やサービスが正常にご利用いただけない状態となります。

そのような場合は、Google Apps 側のパスワードをリセットすることで正常にご利用いただけるようになります。また、「アカウント ID の変更」の操作を行った後も、このリセットの操作が必要です。

アカウント詳細画面を開き、「Google Apps パスワードをリセットする」を選択して保存してください。

パスワード

☐ 次回サインオン時にパスワード変更要求を行う

☒ Google Apps パスワードをリセットする

変更を保存

対象アカウントの Google Apps 側パスワードが、Cloud Gate システムが生成する乱数値のパスワードにリセットされます。



ご注意点

- ① Google Apps パスワードリセット作業の影響として、本作業実施時、対象ユーザーが既に Gmail にログイン済みの場合、**一時的にログアウトしてしまい、Google のログイン画面が表示される場合があります。**その場合は一旦ブラウザを閉じて、再ログインをお願いします。
- ② Google Apps パスワードリセットは、「API 利用の為に指定頂いている Google Apps 管理者 ID」以外で、SSO および Google Apps 上に存在するアカウントの詳細画面のみに表示されます。

5 グループ(メーリングリスト)一括処理(登録・更新・削除)

5.1 CSV 一括登録



Google Apps のグループ(メーリングリスト)のメンテナンスを、csvファイルで一括処理します。

※AD グループシンクロ機能をご利用の場合は、グループ一括登録機能はご利用いただけません。

グループ設定にマウスオンし、**グループ一括登録** をクリックします。

グループ一括登録画面が表示されます。

グループ一括登録

CSVファイル

ファイルが選択されていません。

登録に必要な csv フォーマットは画面上に記載された注意事項をご確認ください。
※トラブルシューティングもご確認ください。

登録済みのグループ情報一覧を [ダウンロード](#) する

① *ダウンロードには1グループにつき、最大2分程かかる場合があります。
一度ダウンロードをクリックしたら、ウィンドウを閉じる・別のメニューをクリック・画面を更新などの操作を行わないよう注意し、そのままの画面でお待ちください。
あるグループのメンバー取得が、Google側タイムアウトにより失敗した場合、1度だけリトライします。
リトライも失敗した場合、ダウンロードされるCSVの中の、そのグループについての行には
[*** Google API Time Out. GroupId: グループID ***] と出力されます。
IDを指定して個別にダウンロードする場合は、ダウンロードメニューよりご利用下さい。

② ファイルの形式は、文字コードがUTF8のタブ区切りのCSVファイルです。
各行に 処理区分、グループID、グループ名、説明、アクセスレベル、アカウント名、アカウント権限 をセットします。
グループIDからアクセスレベルまではグループの情報です。Fカラム以降はアカウント名とアカウント権限を1組として扱います。
作成したグループの確認はGoogleAppsのコントロール画面をご覧ください(*GoogleAppsの管理者権限が必要です)。
グループについての詳細な説明はGoogleのヘルプをご覧ください。

A. 処理区分: 登録・更新の場合は 1 を、削除の場合は 2 を指定します。
同名のグループIDが存在する場合、入力された内容で更新します。

B. グループID: グループIDを指定します。

C. グループ名: グループに対し、任意の名前を指定します。省略するとグループIDが登録されます。

D. 説明: グループの説明を指定します。省略することが可能です。

E. Google API変更に伴い、グループアクセスレベル変更機能の提供は終了となります。
グループ一括登録のフォーマットは変更ございませんので、これまで通りのフォーマットをご利用頂けます。

提供を終了する為、E列「アクセスレベル: グループのアクセスレベルを指定します。」の値は無視されますが
正常に登録を完了させる関係上、従来通りの値の入力をお願い致します。(空白もしくは1~4の番号を指定)

なお、今後、グループ一括登録機能を利用して新規作成されたグループに関しては、Googleの仕様通り
従来の「のアクセスレベル「インターネット上のすべてのユーザーがメッセージの投稿が可能です。」が設定されます。
グループのアクセスレベル変更が必要な際は、お手数をおかけ致しますが
別途Google管理者サイトでの設定変更をお願い致します。

F. アカウント名: グループに所属するアカウントを指定します。次カラムのアカウント権限とセットで指定します。

G. アカウント権限: 前カラムのアカウントの権限を指定します。前カラムのアカウント名とセットで指定します。
メンバーの場合は 1 を、オーナーの場合は 2 を指定します。
オーナーとして登録する場合、オーナーとメンバーの両方の権限でアカウントを登録する必要があります。

例)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	...
1	1	sales	営業	営業グループ	1	member_a	1	member_b	1	...
2	1	project_a	プロジェクトA	プロジェクトAグループ	2	owner_a	2	outside_domain_member@foo.com	1	...
3	2	project_b	プロジェクトB	プロジェクトBグループ	4	owner_b	2	member_c	1	...

※ 件数により、処理に時間がかかる場合があります。

※ 一括処理中は、他の画面へ遷移しないでください。処理は行われますが、処理結果の画面確認ができなくなります。

処理が完了すると、登録結果が表示されます。

グループ一括登録結果		
処理区分	グループID	登録結果
登録	all	成功
登録	info	成功
登録	new	成功

◆注意事項

・登録時にメールアドレスに英大文字が含まれている場合、更新時に以下のようなエラーが発生する場合がございます。

処理区分	グループID	登録結果
登録		メンバーの登録に失敗しました。
登録		メンバーの登録に失敗しました。
登録		メンバーの登録に失敗しました。

メンバーのメールアドレスは**英小文字**で登録頂くことを推奨致します。

・Google Apps の仕様上、オーナー権限に関して以下をご注意ください。

1. オーナー権限のユーザーを登録する場合はオーナー(2)、メンバー(1)両方の権限で登録する必要があります。
2. メンバーが存在しないオーナーのみのグループは作成出来ません。必ずメンバーを含めた状態でグループを作成してください。

・Google Groups for Business をご利用の場合、CSV 一括登録で新規作成されたグループはデフォルトで以下の様に設定されます。各機能についての設定変更に関しましては、Google Groups for Business の設定画面より操作を行ってください。

1. アーカイブ オプションにて「グループへのメッセージをアーカイブする」がオフで登録されます。

groupptest

▼ 役割
役割

▼ 情報
全般情報
ディレクトリ
グループの...
コンテンツ管理
ウェブ表示...
詳細設定

アーカイブ オプション

☐ グループへのメッセージをアーカイブする。
アーカイブされていないメッセージは一定の期間、オンラインでのみアクセスできます。

孤立した投稿

☐ 孤立した投稿を追跡する
返信の付いていない投稿が「未回答」と見なされるまでの時間(時間単位):

「グループへのメッセージをアーカイブする」が**オフ**になっています。

2. 管理者のみが管理可能なグループとして登録されます。

3. アクセスレベル「インターネット上のすべてのユーザーがメッセージの投稿が可能です。」が設定されます。

※「SSO 経由でのグループアクセスレベル変更機能」のご提供は終了しております。過去にこちらの機能を使用し、作成されたグループのアクセスレベルにつきましては、以下マニュアルをご参考下さい。

管理者サイトマニュアル【ActiveDirectory】v2.3.1.pdf の p.45

・Google Groups for Business をご利用の場合、各アクセスレベルに対応した、Google Groups for Business での表記は次の通りです。

・CSV 一括登録で新規作成されたグループは、Google Apps でグループ新規作成した場合とで、初期設定が異なる箇所があります。詳細につきましては、以下をご確認下さい。

https://sites.google.com/a/core.cloudgate.jp/faq_customer_sites/faq/admini-site#00000596

5.2 CSV一括登録のエラー(フォーマットエラー)

csv一括処理で **フォーマットエラー** メッセージが表示される場合、以下の点をご確認ください。

(例:登録失敗時の結果画面)

グループ一括登録結果		
処理区分	グループID	登録結果
登録	all	成功
区分エラー	2行目	フォーマットエラー
区分エラー	3行目	フォーマットエラー

◆csvファイルは、文字コードが **UTF-8** で**タブ区切り**である必要があります。

MicroSoft Excel から CSV ファイル形式でデータを保存すると、文字コードが自動的に shift-JIS に変換される為、CSV ファイル保存用に**文字コードが選択できるテキストエディタ**をご用意ください。

※Windows 標準の「メモ帳」では、保存時に余計な文字が追加されるため、使用しないでください。

◆失敗しないcsvファイルの作りかた

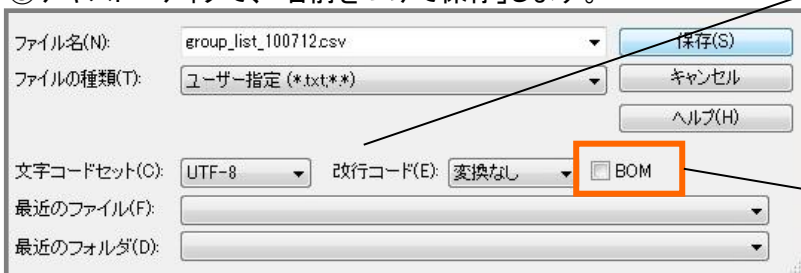
①まず、フォーマットの列に従ってエクセルでデータを作成します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	1	sales	営業	営業グループ	1	member_a	1	member_b	1
2	2	project_b	プロジェクトB	プロジェクトBグループ	4	owner_b	2	member_c	1

②エクセル上からデータを選択してコピーし、テキストエディタに貼り付けます。



③テキストエディタで、「名前をつけて保存」します。



文字コードを **UTF-8** に変更し、ファイルの拡張子を「**.csv**」に設定して保存します。

BOM のチェックが外れていることを確認してください(BOM がつくとフォーマットエラーになります)

5.3 CSV一括登録のエラー(グループメンバーが登録されない)

csv一括処理で **グループのみ作成、メンバーカラムに不備があります**。メッセージが表示され、メンバーアドレスが登録されなかった場合、以下の点をご確認ください。

(例:登録失敗時の結果画面)

グループ一括登録結果		
処理区分	グループID	登録結果
登録	all	成功
登録	info	グループのみ作成、メンバーカラムに不備があります。
登録	new	グループのみ作成、メンバーカラムに不備があります。

- グループ登録用のcsvフォーマットは、グループ情報 と メンバー情報 の部分に大きく分かります。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	...
1	1	sales	営業	営業グループ	1	member_a	1	member_b	1	...
2	1	project_a	プロジェクトA	プロジェクトAグループ	2	owner_a	2	outside_domain_member@foo.com	1	...
3	2	project_b	プロジェクトB	プロジェクトBグループ	4	owner_b	2	member_c	1	...

登録されたcsvファイルのうち、「グループ情報」は OK で、「メンバー情報」のフォーマットに不備があった場合、**グループのみ作成し、メンバー登録をスキップ**します。

この場合、作成されたグループにメンバーが登録されていない状態になります。

- メンバー情報は、**アカウント名とアカウント権限をセットで1組**として扱います。
このうちいずれの情報が欠けていても、フォーマット不備となり、メンバー登録がされません。

よくあるフォーマット間違い:

E	F	G	H	I	J	K	L	N	O
... (省略)	member_a	1	member_b	2	member_c	1	...	member_z	

↑ セットで1組 ↑ セットで1組 ↑ セットにならないのでエラー

上記の例では、member_z のアカウント権限が空白のため、フォーマットエラーとなり、すべてのメンバーが登録処理されません。

5.4 グループ情報ダウンロード

5.4.1 グループ情報一括ダウンロード

作成されている Google Apps のグループ情報をcsvファイルで一括ダウンロードできます。

登録済みのグループ情報一覧を [ダウンロード](#) する
 ※ダウンロードには1グループにつき、最大2分程かかる場合があります。

ダウンロードしたcsvファイルは、フォーマットが適切な形になっています。
 このファイルを適宜修正して、一括登録メンテナンスにご利用ください。

グループ情報一覧のダウンロードデータサンプル:

データはcsvファイル形式になります。

文字コードが UTF-8 になっていますので、テキストエディタでファイルを開いてください。

1	all	00ドメイン全体	1	.@gapp-train2.com	1	admin@gapp-train2.com	1
2	keiri	01経理部	経理部アカウント	3	admin@gapp-train2.com	1	andoh_s@gapp-train2.com
3	info Google API Time Out. GroupId : グループ ID info						
4	product-planning	01商品企画部	Cloud Gate	商品企画開発部のメーリングリストです。Ccに入れて送っ			

※Microsoft Excel で開くと文字コードが変換されず文字化けしますのでご注意ください。

- 取得できなかったグループ情報

稀に、グループ情報取得中に Google との接続がタイムアウトし、ダウンロードデータに反映されない場合があります。その場合、csvファイルでは ***** Google API Time Out. GroupId : グループ ID ***** と記載されています(ダウンロードデータサンプル参照)ので、その場合はお手数ですが、再度ダウンロードしてください。

5.4.2 グループ ID 指定ダウンロード

グループ ID を指定して、任意のグループデータのみダウンロードすることが可能です。

個別ダウンロードは、ダウンロードページから行います。

ダッシュボード アカウント一覧 グループ設定 ▼ セキュリティ設定 **ダウンロード**

ファイルダウンロード

グループ情報一覧

[グループ情報一覧ダウンロード](#)

① ダウンロードは1グループにつき、最大2分程かかる場合があります。
あるグループのメンバー取得が、Google側タイムアウトにより失敗した場合、1度だけリトライします。
リトライも失敗した場合、ダウンロードされるCSVの中の、そのグループについての行は
[*** Google API Time Out. GroupId : グループID ***]と出力されます。

② ダウンロードしたファイルは「グループ一括登録」で利用できます。

info, keiri@isr.co.jp **ID指定ダウンロード**

③ グループIDを前方一致で指定して、ダウンロード出来ます。
グループIDは「,」(カンマ)区切りで複数指定出来ます。
指定のない場合は、全件を対象とします。

指定できるグループ ID 数に上限はありません。

入力するグループ ID は、@を含んだ メールアドレス形式、あるいは@以後を省略した ID 形式、いずれも可能です。

ダウンロードできるcsvファイルの形式は、一括ダウンロードと同様になります。(文字コード UTF-8 ですのでテキストエディタで開いてください)

6 Cloud Gate Address Book & Group Calendar の管理

※この章は、オプションで「Cloud Gate Address Book」「Cloud Gate Group Calendar」をお申込みされた場合のみご参照ください。

6.1 アカウントの表示名・所属・役職

Active Directory の Cloud Gate Address Book 参照起点の ou 以下に存在するユーザーオブジェクトで、「電子メール」の項目に入力があるユーザー、連絡先、グループオブジェクトはすべて自動的に Cloud Gate Address Book 及び Group Calendar にも表示されます。

(初期設定時に、「非表示 ou」をご指定いただいた場合、非表示 ou 配下のユーザーでも、「電子メール」フィールドに入力があると、検索ボックスからの検索結果で表示されます。Address Book・Group Calendar で完全に表示させないようにする場合は、6.4 フィルター設定 をご利用ください)

Address Book に表示させる各値は、Active Directory のユーザープロパティの情報を編集することで設定します。

※ 下記の画像で示す AD 各フィールドと Address Book の対応はデフォルト値です。

※ お客様環境によっては設定が異なっている場合がございます。初期設定値をお確かめください。

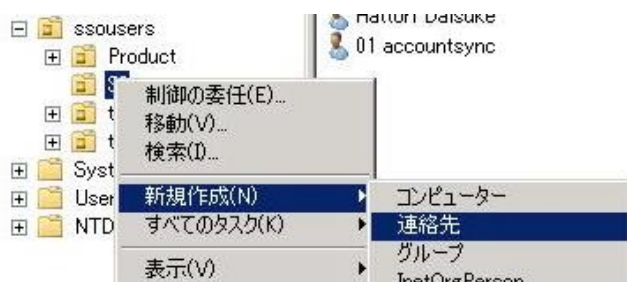
Address Book の表示:

6.2 Cloud Gate Address Book にのみ表示させるアカウント

Google Apps にアカウントが存在しないが Address Book ・ Group Calendar には表示させたい場合や、兼務のユーザーで、アカウントの所属部署とは別の部署にもユーザー表示させたい場合に、Address Book・Group Calendar にのみ表示させるユーザーアカウントを Active Directory に作成する手順を解説します。

(注: Address Book の「メールアドレス」項目は、Active Directory の「電子メール」を参照する設定になっている必要があります)

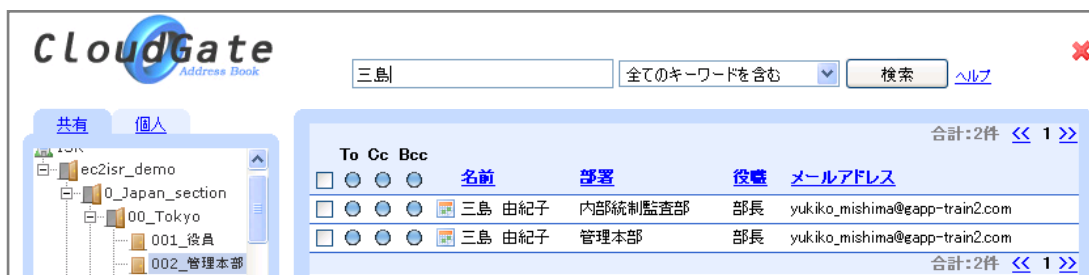
- ① Address Book・Group Calendar で表示させたい OU 配下に、**連絡先オブジェクト**を作成します。



- ② 連絡先のプロパティで各表示項目を設定します。

(※Google 連携フラグ Google=1 は、入力しません)

Address Book の表示:



6.3 ソート機能

- ◆ Cloud Gate Address Book・Group Calendar を初回起動した際の表示データの並び順は、表示名、部署、役職、メールアドレスのいずれかの項目の値の **Unicode 順** で表示されます。

※ソート項目はサービス設定時にご指定いただいたものになります。

- ◆ ユーザーカウントの表示順を任意の順番に設定するソートキーによるソート機能をご利用の場合、Active Directory の任意のフィールドにソートキーを入力して、表示順をコントロールします。

(例:【役員】⇒【一般社員】など、役職順に表示)

※ユーザーカウントのソートキー機能のご利用は、ご依頼いただき個別に設定する必要があります。

ソートキーは半角英数で桁数を揃えて指定ください。

例)部長:11111、主任:22222、一般社員:33333

ソートキーの記入例:

例では、Active Directory の「私書箱」をソートキーの入力フィールドに指定しています。

(設定時にお客様が任意にご指定いただけます)

ソートキーが重複している場合、
重複したアカウントの表示順はランダムとなります。

Address Book の表示例:

To	Cc	Bcc	名前	部署	役職	メールアドレス
			三島 由紀子	内部統制監査部	部長	yukiko_mishima@gapp-train2.com
			伊藤	内部統制監査部	主任	ito.j@gapp-train2.com
			西森康隆	内部統制監査部	マネージャ	saio.y@gapp-train2.com
			金田康成	内部統制監査部	チーフ	kaneda.y@gapp-train2.com

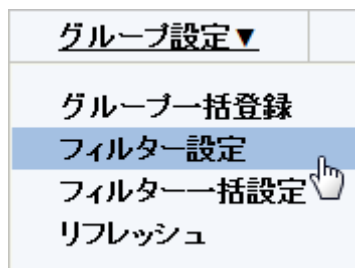
メーリングリスト表示画面:

※メーリングリストの表示順は、メーリングリストの名称(名前)の Unicode 順で表示されます。

To	Cc	Bcc	名前	部署	役職	メールアドレス
			00info	-	-	new@gapp-train2.com
			00ドメイン全体	-	-	all@gapp-train2.com
			01info	-	-	info@gapp-train2.com
			01商品企画部	-	-	product-planning@gapp-train2.com
			メディア課	-	-	0727test@gapp-train2.com

6.4 フィルター設定

- ◆ Cloud Gate Address Book と Group Calendar に表示/非表示のフィルターが設定出来ます。
フィルターに設定されたアカウントやグループ、グループのメンバーは、Address Book と Group Calendar 上に表示されません。



グループ設定にマウスオンし、フィルター設定 をクリックします。

フィルター設定画面が表示されます。

Cloud Gate Address Book & Group Calendar フィルター設定

① アドレスを入力して「追加」ボタンを押下することで、Cloud Gate Address Book / Cloud Gate Group Calendar で表示されなくなります。
グループアドレスの場合、「グループ自体の非表示」又は、クリック時の「メンバーの非表示」を選択できます。

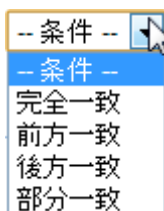
追加アドレス -- 条件 -- -- 対象 --

追加済みアドレス

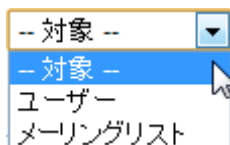
☐ info@gapp-train2.com	のメンバーを表示しない	グループ自体を表示しない
☐ keiri@gapp-train2.com	を表示しない	メンバーを表示しない
☐ noguchi_s@gapp-train2.com	を表示しない	
☐ yoshikawa_k@gapp-train2.com	を表示しない	

非表示にするアカウント/グループ名を入力して追加をクリックします

フィルター設定されたアドレスは、アカウントは黒字、グループは青字で表示されます



「条件」より、フィルターに指定した値の一致条件を指定できます。



「対象」より、指定したアドレスの種類を指定できます。

グループ(メーリングリスト)をフィルター指定した場合、[グループ自体を表示しない][メンバーを表示しない]ボタンをクリックすると、都度設定が変更します。



グループのフィルターは、以下の設定例をご参照ください。

SSO 管理者サイトのフィルター設定:

☐ info@gapp-train2.com のメンバーを表示しない **グループ自体を表示しない**
☐ keiri@gapp-train2.com を表示しない **メンバーを表示しない**



Address Book ではこのように表示されます

共有 **個人**

- 30_福岡支社
- 40_札幌支社
- 50_京都支社
- 1_米国法人
- 2_中国法人
- test
- test_0716
- メンバーリスト

合計: 4件 << 1 >>

To	Cc	Bcc	名前	部署	役職	メールアドレス
☐	☐	☐	00info	-	-	info@gapp-train2.com
☐	☐	☐	00info	-	-	new@gapp-train2.com
☐	☐	☐	00ドメイン全体	-	-	all@gapp-train2.com
☐	☐	☐	01商品企画部	-	-	product-planning@gapp-train2.com

合計: 4件 << 1 >>

keiri というグループが表示されません

info はリンクが無くメンバー一覧が表示されません

Google Apps コントロールパネルでは、グループが全て確認できます。

Google apps

ダッシュボード **ユーザーとグループ** ドメインの設定 高度なツール サポート サービスの設定

ユーザーとグループ

ユーザー **グループ** 設定

[新しいグループを作成](#) グループを利用すると、チーム内のコミュニケーションとコラボレーションが簡単にできます。 [詳細](#)

[グループ サービスで表示 >](#)

☐	名前	メール アドレス	タイプ
☐	00ドメイン全体	all@gapp-train2.com	カスタム
☐	00info	info@gapp-train2.com	カスタム
☐	01経理部	keiri@gapp-train2.com	カスタム
☐	00info	new@gapp-train2.com	カスタム
☐	01商品企画部	product-planning@gapp-train2.com	カスタム

1~5

【フィルター設定を解除したい場合】

追加済みアドレスの中から該当のアドレスにチェックを入れて【削除】をクリックします。

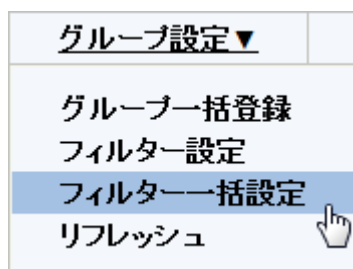
追加済みアドレス

☐ mishimatest@gapptrain2.com
☒ yukiko_mishima@gapp-train2.com

削除

6.5 フィルター一括設定

- ◆ フィルターの設定を csv ファイルにより一括で行うことができます。また、現在の設定をダウンロードも可能です。



グループ設定にマウスオンし、**フィルター一括設定** をクリックします。

設定用の csv ファイルフォーマットは画面上の説明事項をご参照ください。

Cloud Gate Address Book & Group Calendar

フィルター一括登録

Cloud Gate Address Book および Cloud Gate Group Calendarで
指定のユーザー/グループアドレス(メンバーリスト)を非表示にするフィルター設定を一括で行うことができます。

CSVファイル

ファイルを選択

選択されていません

登録済みのフィルター情報一覧を [ダウンロード](#) する

登録されているフィルター設定の確認や個別設定は [こちら](#) から

① ファイルの形式は、文字コードがUTF8のタブ区切り、BOMなしのCSVファイルです。
各行に 処理区分、メールアドレス、対象、条件、グループアドレスのフィルタ種別 をセットします。

A. 処理区分 : 登録の場合 1 を、更新の場合 2 を、削除の場合 3 を指定します。
既に登録済みのメールアドレスに対し、処理区分: 1(登録)で登録処理すると、エラーとなります。

B. メールアドレス : フィルターメールアドレスを指定します。
C列 条件: 1(完全一致)を指定した場合、本項目は正しいメールアドレス形式である必要があります。
また、*(アスタリスク)を条件指定には使用できません(例: *@example.com 等)。C列 条件プラグでご指定ください。

C. 条件 : 完全一致の場合 1 を、前方一致の場合 2 を、後方一致の場合 3 を、部分一致の場合 4 を指定します。

D. 対象 : ユーザーの場合 1 を、グループの場合 2 を指定します。
例に、対象: 1(ユーザー)として指定するメールアドレスが実際にGoogle Apps上ではグループアドレスとして登録されている場合でも、
フィルター設定上は指定のままユーザーとして登録されますのでご注意ください。

E. グループアドレスのフィルタ種別 : 対象: 2(グループ)の場合はさらに詳細のフィルタ種別を指定します。
グループ自体を非表示にする場合 1 を、グループのメンバーを非表示にする場合 2 を指定します。
フィルタ種別: 2(グループのメンバーを非表示)設定は、Cloud Gate Address Bookをご利用の場合に、
Address Bookの「メンバーリスト」フォルダ内の表示を制御する設定となります。
対象: 2(グループ)を指定した場合、本項目の指定は必須となります。
対象: 1(ユーザー)を指定した場合、本項目の値に "-" を設定します。

例)

	A	B	C	D	E
1	1	testmail@testdomain.com	1	1	-
2	1	test1	2	2	1
3	2	test2	2	2	1

一括登録の際の注意事項については、トラブルシューティング「**11.1 CSV 一括登録がうまくいかない**」もご確認ください。

60

7 リフレッシュ

※オプションで「Cloud Gate Address Book」をお申込みされた場合のみ表示されます。

Address Book で表示される部署ツリー(Active Directory の ou)、入力補完リスト、メーリングリスト一覧情報は、定期的にサーバキャッシュを作り変えています。(作り変えるまでの時間は、初期設定時に設定された値です)

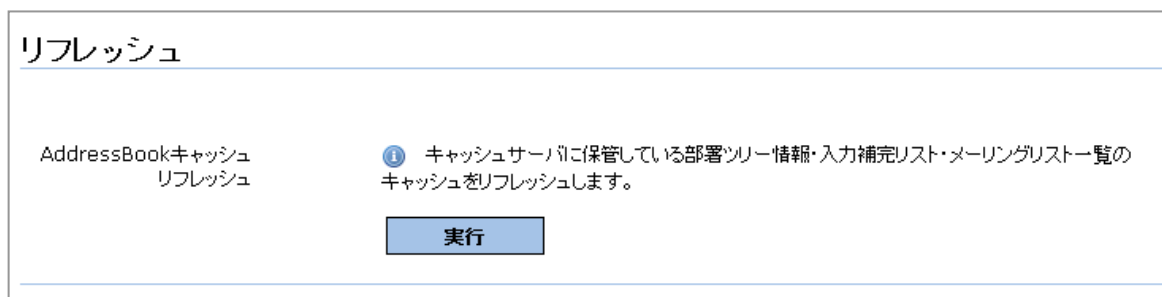
サーバキャッシュ再作成を任意のタイミングで行うことが可能です。

これにより、部署情報やアカウント情報の変更を行った後、すぐに最新の情報を Address Book に反映させることが可能です。



グループ設定にマウスオンし、リフレッシュ をクリックします。

リフレッシュ画面が表示されますので実行ボタンをクリックします。



リフレッシュ実行後、Address Book を開いて、変更が反映されていることをご確認ください。

※現時点では、リフレッシュ対象サービスは Address Book のみとなります。

8 アクセス履歴の確認

アカウント一覧画面上でアクセス履歴を確認したいアカウント ID をクリックします。



アカウント編集画面で、アクセス履歴を確認できます。

yukio_mishima				
アクセス履歴	操作	リモートIP	詳細	アクセス日時
	サインオン失敗	194.148	パスワード有効期限切れ	2010-07-09 11:47:48
	サインオン失敗	194.148	パスワード間違い	2010-07-09 11:47:36
	認証許可	194.148	「google.com」認証許可	2010-07-09 11:28:55
	サインオン成功	194.148		2010-07-09 11:28:52
	サインアウト	194.148		2010-07-09 11:11:44
	認証許可	194.148	「ssoadmin.com」認証許可	2010-07-09 11:11:24
	認証許可	194.148	「google.com」認証許可	2010-07-09 11:09:27
	サインオン成功	194.148		2010-07-09 11:09:23
	パスワード変更成功	194.148		2010-07-09 11:09:08
	パスワード変更失敗	194.148	安全ではない	

※表示される履歴の件数はプロファイルの**アクセス履歴保存最大数**の設定により異なります。(詳細は「3 セキュリティ」をご参照下さい)

【操作・詳細の表示について】

- ◆ 認証許可……………SSO サーバの認証許可を受けて、サービス(GoogleApps/CloudGate)側へのログインが成功した
- ◆ サインオン成功……ユーザーが入力した ID とパスワードを認証、かつセキュリティ設定に基づいた認証を SSO サーバが行い、サービス(GoogleApps/CloudGate)への認証を許可した

9 ダウンロード

登録済みのグループ、アクセス履歴のデータ等を、すべて一括でダウンロードすることができます。

グループは、そのままcsv一括更新に利用可能なフォーマットでダウンロードしますので、データメンテナンスにご利用ください。

(トラブルシューティングもご参照ください)

ファイルダウンロード	
グループ情報一覧	グループ情報一覧ダウンロード ① ダウンロードには1グループにつき、最大2分程かかる場合があります。一度ダウンロードをクリックしたら、ウィンドウを閉じる・別のメニューをクリック・画面を更新などの操作を行わないよう注意し、そのままの画面でお待ちください。 あるグループのメンバー取得が、Google側タイムアウトにより失敗した場合、1度だけリトライします。リトライも失敗した場合、ダウンロードされるCSVの中の、そのグループについての行には [*** Google API Time Out. GroupID : グループID ***] と出力されます。 ② ダウンロードしたファイルは「グループ一括登録」で利用できます。 ID指定ダウンロード ③ グループIDを指定して、ダウンロード出来ます。グループIDは「,{カンマ)」区切りで複数指定出来ます。指定のない場合は、全件を対象とします。
アクセス履歴	アカウント指定 : 取得期間指定 : ~ 取得件数 : ☒ 全件数 ☐ 件数指定 件 ① 項目は全て省略することが可能です。 ② アカウントは「,{カンマ)」区切りで複数指定出来ます。 ③ 件数指定で指定件数がない場合、デフォルト(100件)での取得となります。 ダウンロード クリア
社用端末PC/個人端末PC情報一覧	社用端末PC一覧ダウンロード 個人端末PC一覧ダウンロード ① PC端末制限機能で登録された社用端末PC/個人端末PCの情報一覧をダウンロードします。
フィルター一覧	フィルターダウンロード ① 登録されたフィルター情報一覧をダウンロードします。
スマートフォン端末一覧	スマートフォン端末一覧ダウンロード ① スマートフォン端末制限機能で登録された端末一覧をダウンロードします。
アカウント状態一覧	アカウント状態一覧ダウンロード ① 登録されたアカウントの状態一覧をダウンロードします。

アクセス履歴をお申込の場合に表示されます

Address Book・Group Calendar
のいずれかをお申込の場合に表示されます

スマートフォン端末制限アプリをお申込の場合に表示されます

9.1 アクセス履歴ダウンロード

アクセス履歴のダウンロードデータサンプル:

データはcsvファイル形式になります。

文字コードが UTF-8 になっていますので、テキストエディタでファイルを開いてください。

	A	B	C	D	E	F
1	uid	remote_ip	operation	detail_ja	detail_en	ins_datetime
2	honda	61.197.194.	1			2012/7/21 16:18
3	test	61.197.194.	2	パスワード間違い	Password is wrong.	2012/6/23 3:15
4	honda	61.197.194.	2	アクセス制限	Access Limitation.	2012/7/20 10:17
5	honda	61.197.194.	2	パスワード有効期限切れ	Password expiration date alre	2012/7/21 16:17
6	test	61.197.194.	3			2012/6/23 3:08
7	admin	61.197.194.	4	「google.com」認証許可	Site [google.com] Auth.	2012/7/23 12:52
8	admin	61.197.194.	4	「ssoadmin.com」認証許可	Site [ssoadmin.com] Auth.	2012/7/23 11:48
9	admin	61.197.194.	4	「d_addressbook.com」認証許可	Site [d_addressbook.com] Au	2012/7/23 11:30
10	admin	61.197.194.	4	「clover.com」認証許可	Site [clover.com] Auth.	2012/7/23 15:53
11	test	61.197.194.	4	「workflow.com」認証許可	Site [workflow.com] Auth.	2012/6/23 4:10
12	honda38	61.197.194.	5			2012/7/21 16:26
13	honda	61.197.194.	6			2012/7/21 16:26
14	test	61.197.194.	7	安全ではないパスワード	Password is not safety.	2012/6/23 3:38

uid: アカウント ID

remote_ip: アクセス元 IP
アドレス

ins_datetime: アクセス
日時

detail_ja: 詳細(日本語)

detail_en: 詳細(英語)

operation: 操作

- 1: サインオン成功 (Cloud Gate 認証結果)
- 2: サインオン失敗 (Cloud Gate 認証結果)
- 3: サインアウト
- 4: 認証許可 (Google Apps 認証結果)
- 5: 認証エラー (Google Apps 認証結果)
- 6: パスワード変更成功
- 7: パスワード変更失敗

9.2 アカウント状態一覧ダウンロード

アカウントのロック状態や管理者権限保有状態等をご確認頂けます。

アカウント状態一覧のダウンロードデータサンプル:

csvファイル形式になります。文字コードが UTF-8 になっていますので、テキストエディタでファイルを開いてください。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	アカウントID	ドメイン	ロック状態	プロファイル名	姓	名	管理者フラグ	管理組織
2	sasaki	営業部 cloudgate	off	pop	プロファイル 佐々木	淳平	off	
3	suzuki	企画部 cloudgate	off	デフォルトプロフ	鈴木	二郎	on	企画部
4	tazawa	企画部 cloudgate	off	スマホONプロフ	田沢	真紀子	on	企画部

10 ダッシュボード

ダッシュボード画面では、トピックの編集が行えます。

ダッシュボード
アカウント一覧
グループ設定▼
セキュリティ設定
ダウンロード

サービスの状態

ライセンス数	50
総アカウント数	13
SSO利用可能アカウント数	50
Google連携アカウント数	13
アカウントロック数	1
パスワード期限切れアカウント数	3

ライセンス数:ご購入済みのライセンス数

(SSO 利用可能アカウント数と常に同数になります)

総アカウント数:現在登録済みの SSO アカウント数

(Google 連携アカウント数と常に同数になります)

トピック表示

現在のトピック表示期間

2010年05月10日 17時49分 ~ 2011年05月10日 17時49分

トピック内容

```
<table border="0" cellspacing="4">
<tr>
<td><font color="red">New!!!!</font></td>
<td>2010/5/10 </td>
<td>本日付で、testアカウントのパスワードを変更しました。<br>
CloudGate無料体験サイトをご希望のお客様は、お手数ですが<br>
担当営業に新しいパスワードをお尋ねください。</td>
</tr>
<tr>
<td><font color="red">NEW!!!!</font></td>
<td>2010/4/30 </td>
<td>POP/IMAP対応IPアドレス制限に対応しました。(別途申込要)</td>
</tr>
</table>
```

表示開始日時を指定

2010 年 7 月 9 日 16 時 01 分

表示完了日時を指定

2011 年 7 月 9 日 16 時 01 分

プレビュー
更新

SSO ログイン画面下部に表示させる文字列を設定できます。

ログイン画面は一般公開されていますので、記述する内容にはご注意ください。

※Script タグは入力禁止です。文字数制限は10000字です。

サポート窓口

[サポート窓口はこちら](#)

Copyright(C) International Systems Research Co. 2008-2010.

サポート連絡先を表示します



11 トラブルシューティング

11.1 CSV 一括登録がうまくいかない

5.2 CSV 一括登録のエラー(フォーマットエラー) の章でよくあるエラー原因を解説していますのでご参照ください。

省略可能な項目でも、タブは必要です。

csvファイル編集の際は、

- ① 一旦グループ情報一括ダウンロード
- ② テキストエディタで開く
- ③ データをコピーしてエクセルに貼り付けて内容を編集
- ④ 完成したデータをエクセルからコピーしてテキストエディタに貼り付けて保存すると編集しやすくなります。

どうしてもうまくいかない場合は、サポート窓口までお問い合わせください。

11.2 CSV 一括登録で画面が真っ白になる

一度に多くのデータ処理をcsv登録した場合、処理結果を表示させる前にブラウザがタイムアウトを起こしてしまいます。

処理結果を確認するには、**ダウンロードページ**から、csvを取得して登録結果をご確認ください。

またはサポート窓口までお問い合わせください。

Web 画面上で処理結果を確認するために、一度に処理を流す件数を、新規登録の場合は 100 件程度、更新の場合は 1000 件程度に分けて登録することを推奨します。

11.3 プロファイルを更新したが、各ユーザーに適用されていない

プロファイルを更新しても、その後に適用する処理を行わないと、該当ユーザーに反映されません。

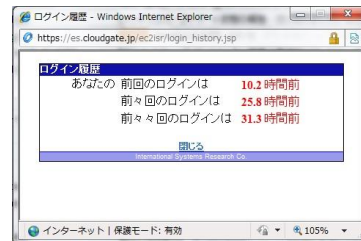
プロファイル更新後に「更新しました」というメッセージが表示されるので、その後に**【ユーザーに適用】**をクリックするか、アカウント一覧からアカウントを選択して**【プロファイル適用】**を選択することで、更新後のプロファイルを該当ユーザーに適用することが出来ます。

11.4 ログイン時に表示される「アクセス履歴」のポップアップを非表示にしたい

非表示設定をご要望の場合、弊社サポート窓口までお申し付け下さい。

サインオン履歴オプションをお申込の場合は、履歴データは取りますがポップアップが表示されなくなります。

※設定はドメイン全体で共通となります。



11.5 表示言語を変更したい

ご利用のブラウザの表示言語設定が、日本語以外の言語が最優先になっている場合、ログイン画面、ログイン履歴ポップアップ画面、SSO 管理者サイト、Address Book の表示言語が英語になります。

尚、Group Calendar は英語対応しておりません。

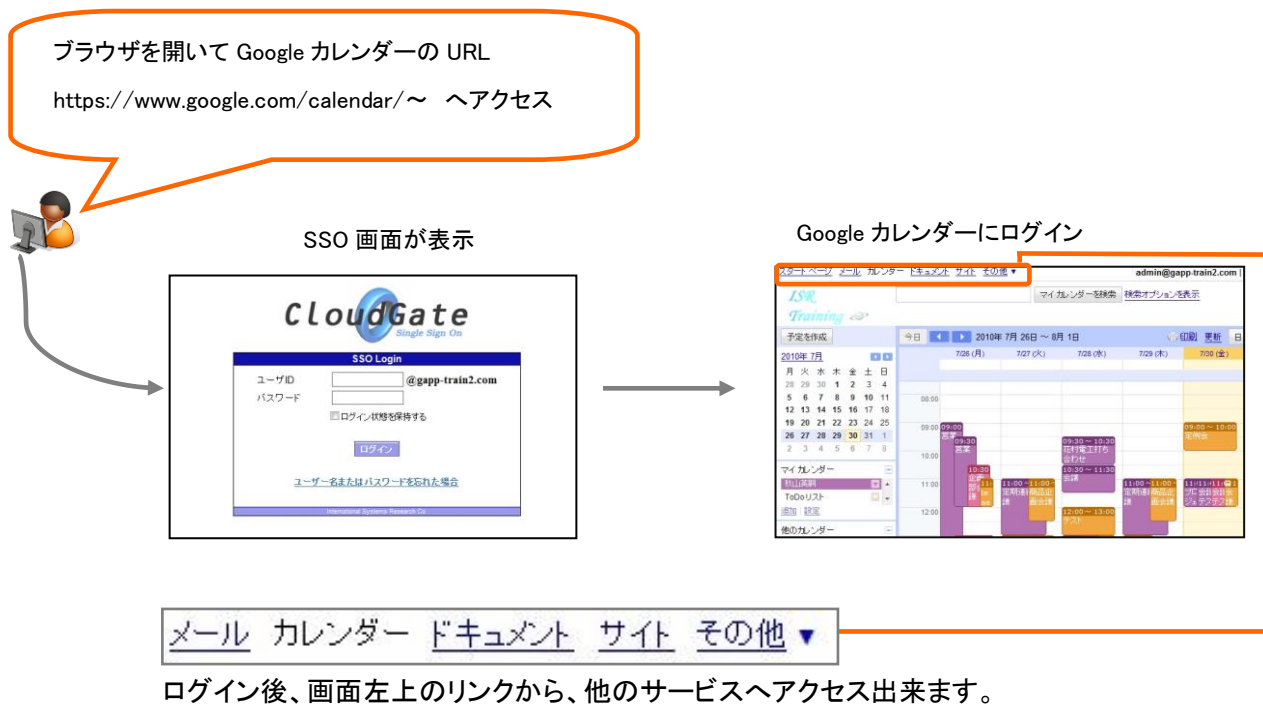


11.6 SSO ログインの後、Gmail 以外の画面にログインするには？

Google Apps 各サービスの URL にアクセスすると SSO ログイン画面にリダイレクトされ、SSO 認証後に URL で指定したサービスの画面が表示される仕様となっております。

ログインしたい Google Apps 各サービスの下記 URL にまずアクセスして下さい。

例)最初に Google カレンダーにログインしたい場合



各 Google Apps サービス URL:

- Google メール: [https://mail.google.com/a/\[お客様ドメイン名\]](https://mail.google.com/a/[お客様ドメイン名])
- Google カレンダー: [https://www.google.com/calendar/hosted/\[お客様ドメイン名\]](https://www.google.com/calendar/hosted/[お客様ドメイン名])
- Google サイト: [https://sites.google.com/a/\[お客様ドメイン名\]](https://sites.google.com/a/[お客様ドメイン名])
- Google ドキュメント: [https://docs.google.com/a/\[お客様ドメイン名\]](https://docs.google.com/a/[お客様ドメイン名])



※開通通知書に記載されている ” [https://cloudgate.jp/\[お客様 ID\]/doLogin](https://cloudgate.jp/[お客様 ID]/doLogin) ” へ直接アクセスする運用は、Google Apps と SSO の認証技術上、推奨しておりませんので、上記の方法でご運用ください。

11.7 「パスワード非同期」なのに、SSO ログイン時 Cloud Gate のパスワード変更画面が表示された

「パスワード非同期」の設定にしている場合であっても、Cloud Gate のパスワード有効期限が切れていない状態であっても、SSO ログイン時 **Active Directory** のパスワード有効期限が切れている場合は、Cloud Gate のパスワード変更画面に移動し、パスワード変更をしなければ Google Apps にログインできません。

12 Q&A

特にお問い合わせの多い FAQ を掲載しております。最新の Q&A は FAQ サイトをどうぞご参照ください。

CloudGate FAQ サイト: https://sites.google.com/a/core.cloudgate.jp/faq_customer_sites/

ログイン関係

Q01. 対応ブラウザは？

A01. 対応ブラウザについての最新の情報は、カスタマーサポートサイトをご確認ください。

Q02. SSO ログイン画面の「ユーザー名またはパスワードを忘れた場合」のリンクをクリックした時に表示される内容を変更するには？

A02. Google Apps コントロールパネルの「ドメインの設定」>「全般」>「ユーザーサポート」の項目のテキストエリアに入力してください。

Q03. SSO ログイン画面の「ログイン状態を保持する」のチェックを ON にして利用しているが、ログイン画面がスキップされないことがあるのはなぜ？

A03. 以下の条件のいずれかに当てはまった場合、次にブラウザを立ち上げて Google Apps/Cloud Gate サービスにアクセスすると SSO ログイン画面が表示されます。

- ①明示的に「ログアウト」を行った場合
- ②ブラウザの Cookie を削除した場合。また、「ログイン状態を保持する」を ON にしてログインを行ったブラウザが、シークレットモード/プライベートブラウジングモードなどの Cookie を自動で削除するような機能だった場合。もしくは、Cookie を自動で削除するようなアドオンやセキュリティソフトがブラウザに追加されている場合
- ③「ログイン状態を保持する」を ON にしてログインを行ってから 30 日経過した場合
※ログイン状態保持機能の Cookie の有効期限は 30 日間になっています
- ④アクセス先 URL が“https://cloudgate.jp/[お客さま ID]/doLogin/”になっている場合
※上記 URL はシステム用 URL です。明示的なアクセスは行わないでください。メールであれば“https://mail.google.com/a/ドメイン名”の URL にアクセスを行ってください

Q04. URL を指定しても SSO ログイン画面が表示されない。(エラーが出る)

A04. ブラウザの種類とバージョンをご確認の上、Cloud Gate が対応しているブラウザにてご確認をお願いします。
解決しない場合、エラー内容をお控えの上サポートまでお問合せください。

Q05. Google Sites のログイン画面が、SSO ログイン画面ではなく Google Apps のログイン画面になってしまう。

A05. Google Apps コントロールパネル上で Sites をドメイン外と共有する設定にすると発生する事象です。

表示されている Google Apps ログイン画面で「ログイン」をクリックすれば Cloud Gate のログイン画面にジャンプします。
※Google Apps コントロールパネル>サイト>全般>共有オプションが「***外のユーザーとサイトを共有できる」設定になっていないかご確認下さい。

Q06. AD に登録してない Google のみに存在するアカウントがある(ドメイン名は社内と同じ)が、ログイン出来ない。

A06. ドメイン全体を「SSO 有効」にしている場合、SSO 連携していないアカウントはログイン出来ません。ログインしたい場合は AD と Cloud Gate 側にも当該アカウントをご登録頂く必要があります。

※Google Apps コントロールパネル＞高度なツール＞認証＞SSO 設定上で「SSO 有効」設定になっていることをご確認下さい。

Q07. 携帯端末のフルブラウザモードで SSO ログイン出来るか？

A07. PC からのアクセスと同様の扱いとしてログイン可能です。但し、リモートアクセス制限等を設定されている場合は、PC のブラウザからのアクセスと認識される為アクセス制限がかかりますのでご注意ください。

※携帯端末のフルブラウザモードからのアクセスは現在サポート対象外となります。

Q08. ログイン画面で二度認証が必要になることがある、ログインしても再度ログインを要求される動作をループしている。

A08. 携帯、または PC 側の Cookie が有効になっているかご確認ください。また接続先 URL が

“https://cloudgate.jp/[お客さま ID]/doLogin”となっている場合は同事象が発生しますので、正しい URL “https://mail.google.com/a/ドメイン名” からログインし解決するかご確認ください。

Q09. SSO ログイン画面にリダイレクトされない、Google のログイン画面が表示される。

A09. URL が「https://www.google.com/a/ドメイン名/」になっていないかご確認ください。こちらの URL は管理者用のログイン画面が表示されます。「https://mail.google.com/a/ドメイン名」等、正しい URL でログイン画面が表示されるかご確認ください。

Q10. ログインしようすると「SSO server logic exception username...」とエラーが出る。

A10. Active Directory 上にアカウント情報が重複して登録されている場合に表示されるエラーです。AD のアカウント登録状態をご確認下さい。※AD 上、2 つのアカウントに対し同じメールアドレスが登録されていると、ログイン時に AD 参照する際正しく認証できずにエラーとなります。

Q11. 一時的に SSO を無効化させたい。

A11. Google Apps コントロールパネル上で SSO を無効に設定し、また SSO 有効に戻す場合も Google Apps コントロールパネル上から「有効」に設定し直せば SSO ログイン可能となります。

※Google Apps コントロールパネル＞高度なツール＞認証＞SSO 設定上で「SSO 有効」設定で有効無効を選択可能です。

Q12. 携帯端末 ID 制限(個人端末 ID)にチェックし、携帯端末からアクセスしたがアクセス制限された。

A12. フルブラウザからアクセスしていた場合は、PC からのアクセス同様にみなされる為、アクセス制限となります。

※フルブラウザはサポート対象外です(2011/01/21 時点) 解決しない場合はサポートまでお問合せ下さい。

Q13. 「ユーザーが存在しないかパスワードが間違っている、もしくはアカウントがロックされています」というエラーが出た。

A13. エラーに書いてある通りの問題があります。なお、セキュリティ上、いずれの問題の場合もエラーメッセージの文言は同じものが表示されます。

・ユーザーが ID/パスワードの入力を間違っている可能性があります。

・SSO 管理者サイトの「アカウント一覧」にユーザーが作成されていない可能性があります。アカウントロックの場合は SSO 管理者サイトからロックを解除できます。

Q14. パスワード変更した後に再度ログインしようとすると、画面がループしてしまいうまくログイン出来ない。

A14. Google Apps コントロールパネル上でパスワード変更を促す設定となっていないかご確認下さい。

※Google Apps コントロールパネル＞組織とユーザー＞ユーザー＞ユーザー名クリック＞ユーザー情報＞パスワード:「次回ログイン時にパスワードの変更を要求する」のチェックを外す。

Q15. 「ログイン状態を保持する」にチェックを入れた場合、何日間保持されるのか？

A15. 30 日間保持される設定になります。30 日後、再度ログインを行い、「ログイン状態を保持する」にチェックを入れて頂ければ、再度 30 日間保持されます。

※ログイン画面で「ログイン状態を保持する」のチェックボックスを追加する設定となっている場合のみ適用となります。

Q16. Google Drive デスクトップアプリについて

A16. Google Drive デスクトップアプリは SSO に対応しており、Cloud Gate ご利用中のお客様も Google Drive をご利用いただけます。ただし、Cloud Gate の「ログイン履歴ポップアップ」を「表示する」設定をされているお客様の場合は、Google Drive の初回認証時に履歴表示の画面でストップし、認証が完了しない状態となることが分かっております。

「ログイン履歴ポップアップ」を「非表示」設定に変更することで、Google Drive への認証は問題なく行えます。

設定の変更をご希望のお客様は、サポートまでご連絡ください。

なお、Google Drive 自体の動作については Cloud Gate サポート外となります、ご了承ください。

スマートフォン関係

Q01. アカウントを新規作成後、スマートフォンでログインしたら「Google サーバーエラー」が表示され、ログインできない。

A01. Google Apps の仕様により、ユーザーカウントの初回ログイン時には CAPTCHA・Google Apps サービス使用許諾への同意が求められます。2010 年 10 月現在、この初回ログインの動作にスマートフォンのブラウザ・携帯ブラウザは対応しておりません。初回ログインはまず PC よりログインしてください。

Q02. iPhone から SSO を通さずに Google Apps へログイン出来てしまう。

A02. POP/IMAP や GoogleSync 経由でアクセス出来ている可能性があります。

よりセキュアにご利用頂く為に SSO 経由でのログインを推奨しているので、ブラウザから SSO 経由でログインされているかご確認下さい。

※SSO を経由しないスマートフォンからのアクセスを制御したい場合は、下記の手順で設定することが可能です。

・Google Apps コントロールパネル＞サービスの設定＞メール＞POP と IMAP アクセス⇒POP/IMAP アクセスを無効にします

・Google Apps コントロールパネル＞サービスの設定＞モバイル＞GoogleSync ⇒GoogleSync の使用を停止します

Q03. スマートフォンから SSO ログインしようとするとアクセス制限でログイン出来ない。

A03. スマートフォンはPCとして認識されるため、管理者サイト上でリモートIP制限等をかけている場合、PC 端末制限の機能を使いスマートフォンからもアクセス出来るようにアクセス制限設定を行う必要がございます。

アクセス制限設定については、「Cloud Gate 管理者サイトマニュアル」をご参照下さい。

Q04. スマートフォンを端末登録しているが、アクセス制限がかかりログイン出来ない。

A04. ご利用のスマートフォン側のブラウザ設定で Cookie が保存されない(若しくは毎回削除されてしまう)設定になっている可能性があります。

ブラウザ設定で Cookie を受け入れる設定になっているかご確認の上、以下の操作をお願い致します。

【ユーザー】

①端末のブラウザ側で Cookie を受け入れる・毎回 Cookie が削除されない設定であることを確認

↓

【管理者】

②CloudGate 管理者サイト上で、当該アカウントの編集画面>プロフィール設定画面を開きますをクリック

③アクセス制限>PC 端末制限上に登録されている端末情報をクリアする

↓

【ユーザー】

④端末から SSO ログイン画面へアクセスし、ログイン後に端末登録を行う

↓

【管理者】

⑤上記③でクリアした端末情報欄に、④で登録した情報が表示されていることを確認

⇒こちらで端末登録が完了しますので、今後アクセス制限がかからずにログイン出来るかご確認ください。

アカウント関係

Q01. アカウントを新規に作成した後、Cloud Gate SSO 管理者サイトのアカウント一覧画面には 作成されたアカウントが存在するが、Google Apps コントロールパネルで検索してもヒットしない。

A01. Google Apps コントロールパネルの「組織とユーザー」上には表示があり、該当アカウントでのログインが可能な場合、アカウント作成は成功しています。

Google Apps コントロールパネルへ作成されたアカウントが反映されるまでに時間がかかる場合があります。

Q02. AD 版を使っているが、アカウント削除方法を教えて欲しい。

A02. アカウントシンクロマニュアル「3.3 連携解除」の手順をご参照ください。

Q03. Google Apps から物理的にアカウントを削除してしまった場合はどうすればよいか。

A03. Cloud Gate 上にアカウントが残ってしまう為、AD 側で該当するアカウントの「Google=1」フラグを削除し、該当アカウントを Cloud Gate サポートまでお知らせ下さい。Cloud Gate 上に残った不要なアカウントをサポート側で削除致します。

Q04. ライセンス数に余裕があるが、アカウントが作成出来ない。

A04. Cloud Gate と Google Apps 両方のライセンス残数に余裕があることをご確認ください。

どちらか片方のライセンスが上限に達している場合、新規アカウントは作成出来ません。

※Cloud Gate では残数に余裕があり Google Apps のライセンス残数がない場合、Google Apps 上に「強制停止」ステータスで不要なアカウントが残っている可能性が考えられます。

Q05. AD 版を使っているが、姓名変更に伴いメールアドレスも新しいものに変えたい、また、これまでと同じ ID(社員番号など)でログインしたいがどうすればよいか。

A05. アカウントシンクロマニュアル「3.4.3 アカウント ID(メールアドレス)を変更する」の手順をご参照ください。

Q06. AD と Cloud Gate と Google Apps でアカウント数が全て違う。

A06. AD 側で物理的削除を行った、若しくは Google Apps コンパネ側からアカウント削除を行わなかった場合に起こり得る事象です。ISR 側にご要望をお伝え頂ければ Cloud Gate 上に残っている不要なアカウントを削除することは可能です。Google Apps 側の不要なアカウントはログイン後、コントロールパネル上から削除して頂くようお願いいたします。

Q07. Cloud Gate 管理者サイト上でアカウントを削除してしまったが、復活させたい。

A07. アカウントシンクロマニュアル「3.4.2 誤削除したアカウントを復活」の手順をご参照ください。

パスワード関係

Q01. アカウントのプロファイル設定画面からパスワード有効期限を変更しても、パスワード期限が変更されないのはなぜ？

A01. アカウントのプロファイル設定画面上にあるパスワード有効期限はユーザーがパスワード変更をした際に適用される日数ですので、プロファイルの変更を保存してもユーザーのパスワード期限は変更されません。

Q02. AD 側のパスワードポリシーはかけていないはずだが、Cloud Gate 上でパスワード変更しようとしても失敗する。Cloud Gate 上の PW ポリシーが反映されない。(AD 版)

A02. Cloud Gate 側、AD 側両方のパスワードポリシー設定をもう一度ご確認ください。競合している為に失敗している可能性が考えられます。

※AD 側のポリシー上の問題である可能性が高いです。